



若手美容師定着調査 報告書

2018年11月02日

(株)リクルート
ホットペッパービューティーアカデミー

調査目的

- 美容師の業界離脱を防ぐ打ち手を導出する
 - ✓ 離職実態（離職した年やボリュームなど）を明らかにする
 - ✓ 美容師を辞めた人がなぜ辞めたのか構造を明らかにし、業界定着の打ち手を導出する
 - ✓ サロンを短期間で移籍した人がなぜ移籍したのか構造を明らかにし、サロン定着の打ち手を導出する

調査手法

- インターネット調査（マクロミル アンケートモニター）

調査エリア

- 全国

対象者条件と 回収数

- SCR : 214,666 ss
 - ・ 男女
 - ・ 20～39歳
- 本調査 : 1,030 ss
 - ・ 男女
 - ・ 20～39歳
 - ・ 美容師免許保有かつヘアサロン勤務経験あり

		現在の就業状況	ヘアサロン移籍経験	サンプル数
現役美容師	移籍経験なし	ヘアサロンに現在就業中	移籍経験なし	103
	移籍経験あり		移籍経験あり	309
過去美容師	移籍経験なし	ヘアサロンに過去就業していたが 現在は就業していない	移籍経験なし	309
	移籍経験あり		移籍経験あり	309

実査期間

- 2018年08月28日（金）～2018年09月3日（水）

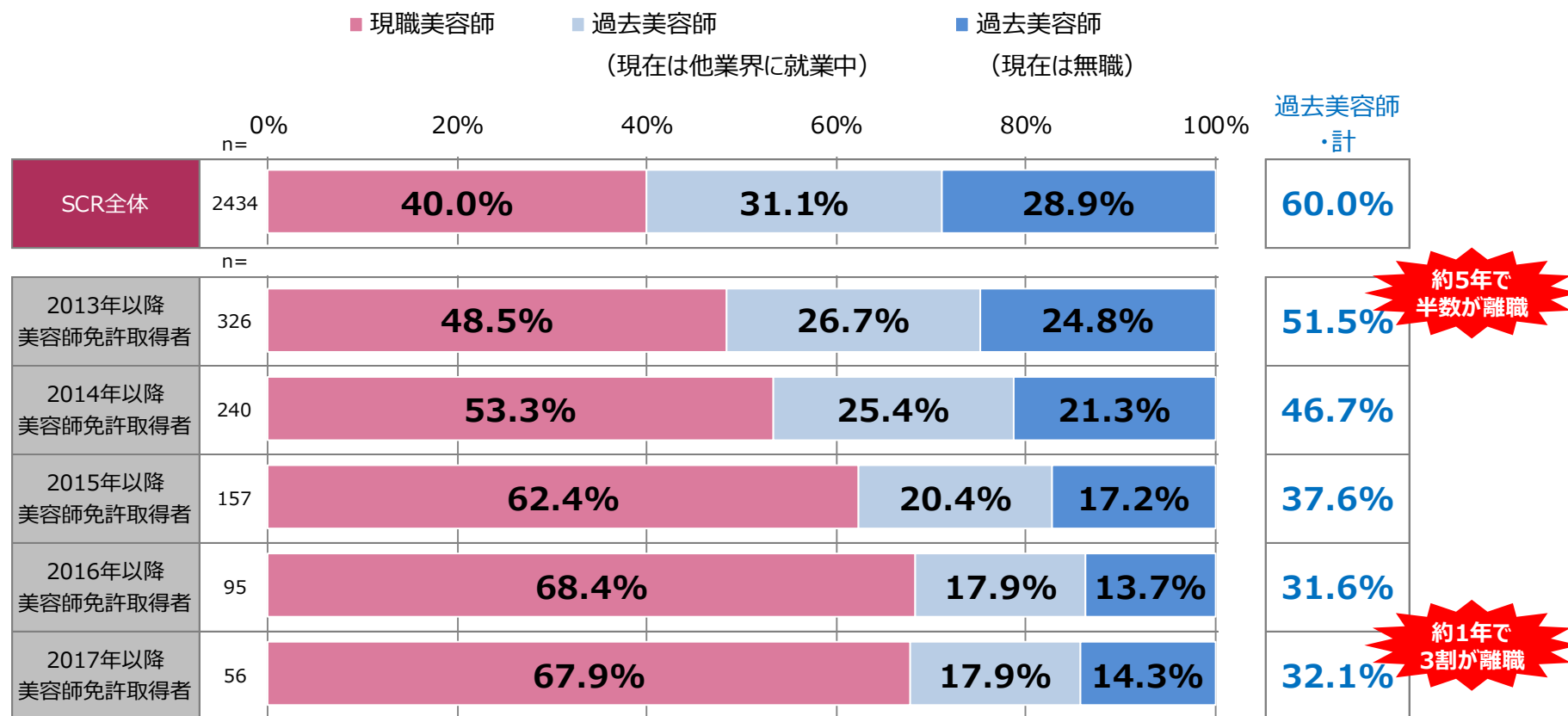


ボリ्यूム (SCRデータより)

A 現在の就業状況（SCRデータより）

- 美容師免許取得者かつサロン勤務経験者のうち、現職美容師は40.0%、過去美容師は60.0%
- 2013年以降（＝直近約5年）の免許取得者に絞ると、そのうちの約半数はすでに美容師を辞めている。また、2017年以降の免許取得者（＝直近約1年）に絞ってみても、うち3割はすでに離職しており、業界定着率の厳しさがうかがえる

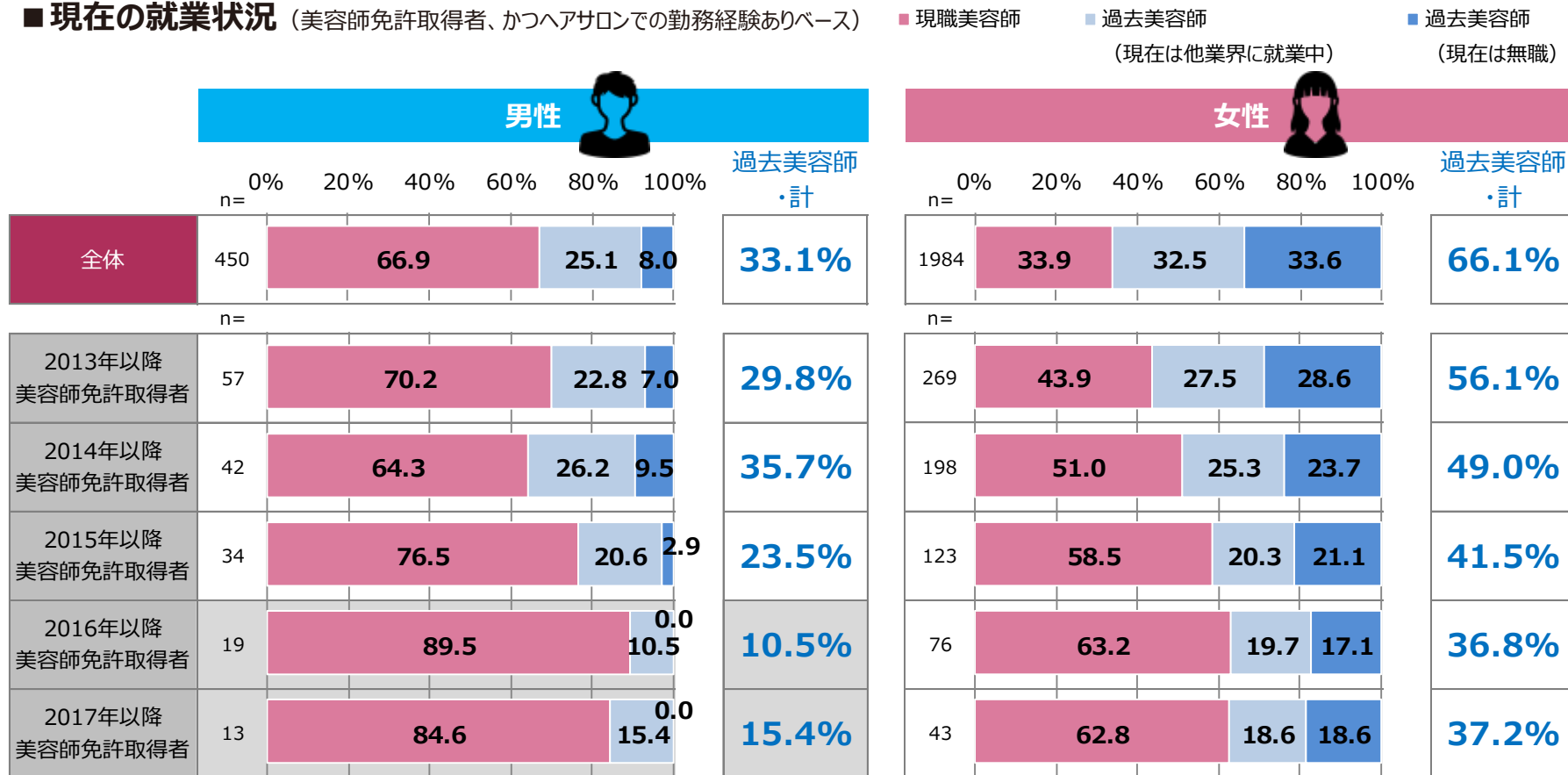
■現在の就業状況（美容師免許取得者、かつヘアサロンでの勤務経験ありベース）



A 現在の就業状況・男女別（SCRデータより）

- 男性は現職美容師が約7割を占めるのに対し、女性は過去美容師が約7割と対照的
- 2013年以降（＝直近約5年）の免許取得者に絞ってみても、男性の方が女性よりも現職美容師で続けている人が多い

■現在の就業状況（美容師免許取得者、かつヘアサロンでの勤務経験ありベース）

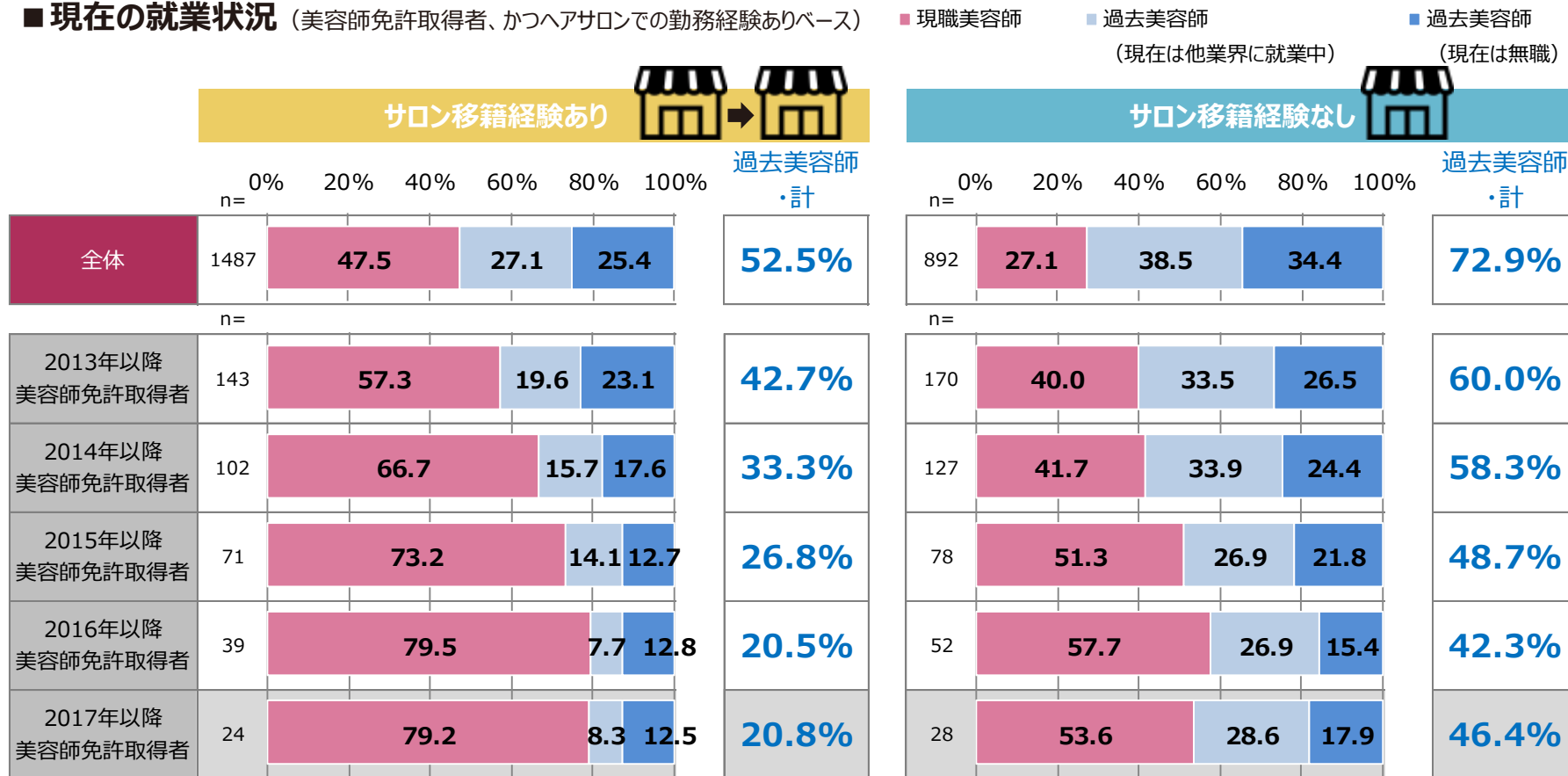


※n<30のスコアは参考値

A 現在の就業状況・サロン移籍経験別（SCRデータより）

- 移籍経験ありの方が、移籍経験なしに比べて現職美容師の割合が全体で20pt前後も多い
- ここ最近の免許取得者に絞ってみても同様の傾向となっており、サロン移籍経験が業界定着率を高めるカギとなっている可能性が高い

■現在の就業状況（美容師免許取得者、かつヘアサロンでの勤務経験ありベース）

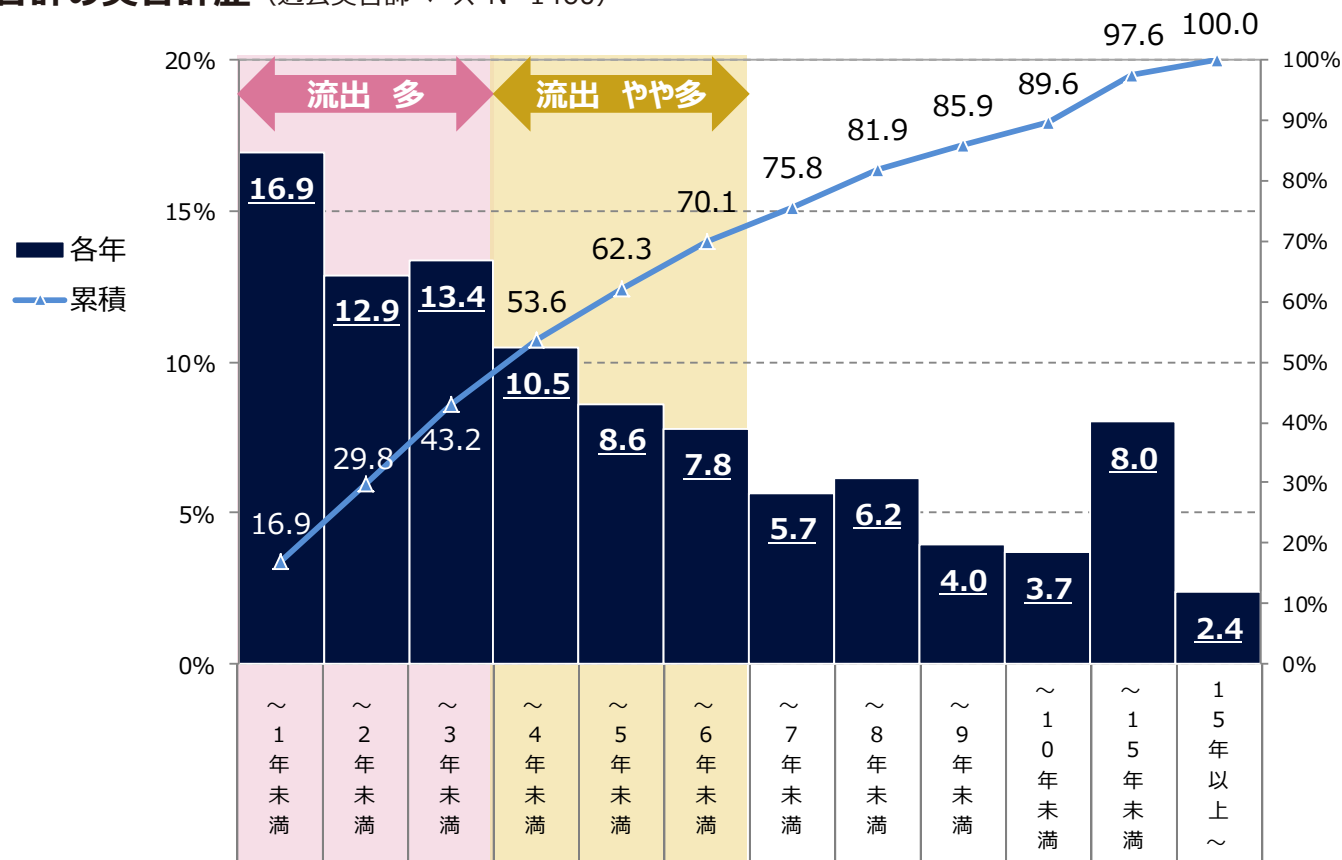


※n<30のスコアは参考値

A 過去美容師の美容師歴（SCRデータより）

- 過去美容師の歴をみると、「～3年未満」「～6年未満」の2か所に傾向の変わる境目がある
- 「～3年未満」までは1年ごとに10～15%強が離職し、累計43.2%が3年未満で美容師を辞める。
「4～6年未満」では約10%、それ以降は約5%と、徐々に流出が緩やかになる
- このことから、初期段階での流出が激しく、徐々に緩やかになるという業界の離職傾向がうかがえる

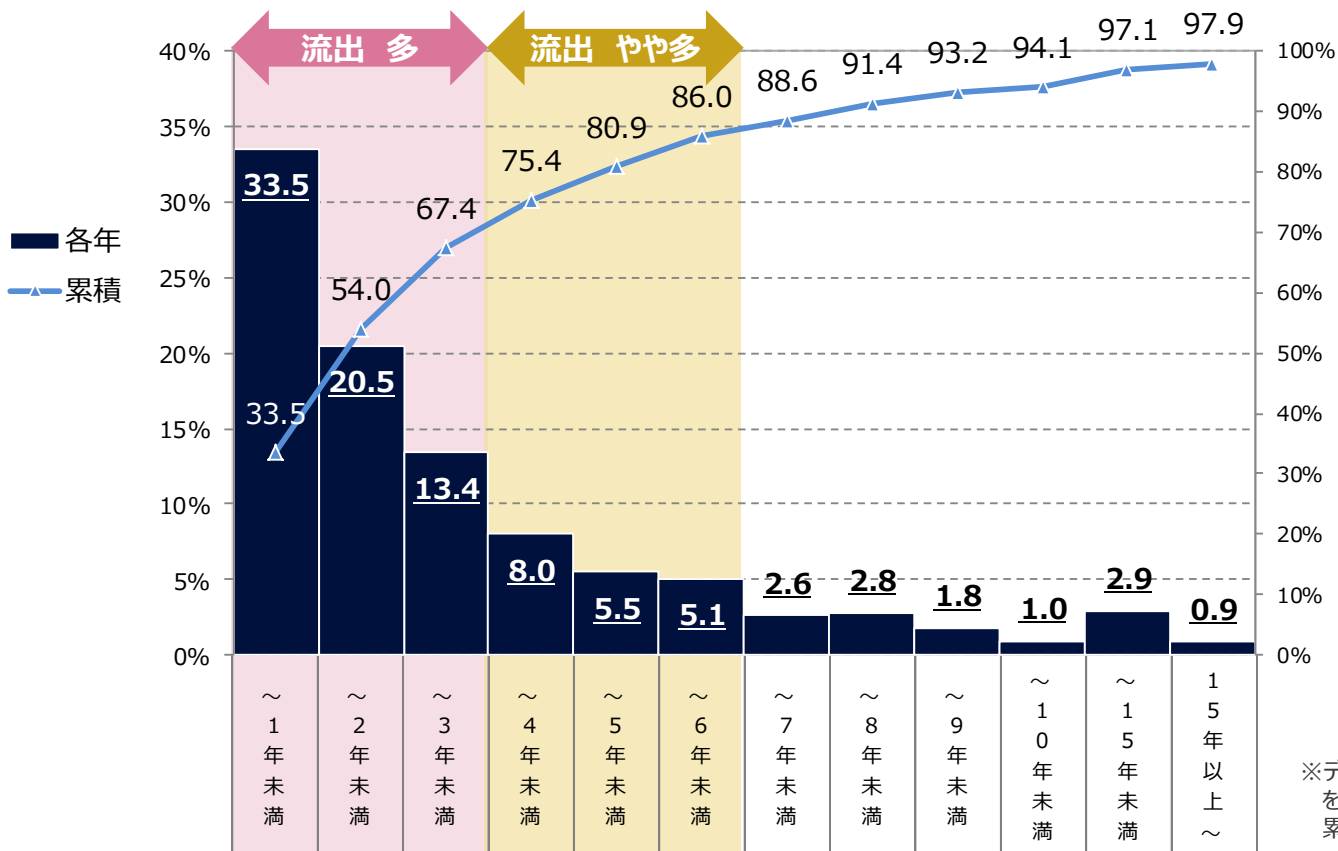
■ 過去美容師の美容師歴（過去美容師ベース・N=1460）



A 過去美容師の1社目サロンの勤務年数（SCRデータより）

- 前頁の業界離脱と同様に、「～3年未満」までの期間と、次いで「～6年未満」までの期間でのサロン流出が激しく、徐々に緩やかになる構造となっている
- 特に「～3年未満」の初期段階は、美容師自体を辞める人も多いため、1社目サロンの離職がそのまま業界離脱につながりやすいと考えられる

■ 過去美容師の1社目サロンの勤務年数（過去美容師ベース・N=1460）



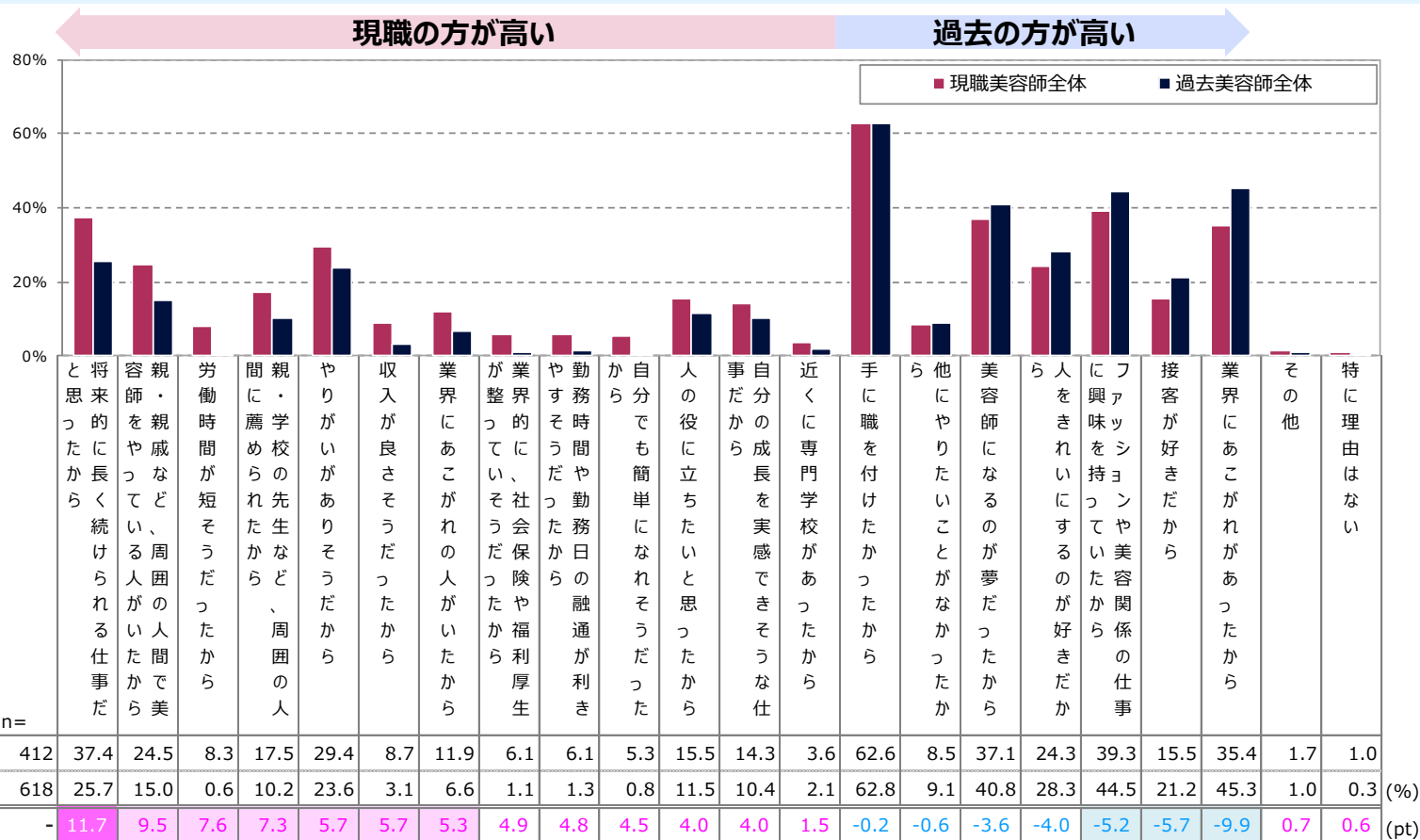
※データクリーニングで矛盾回答を無回答処理しているため、累積値が100%を下回る



業界入口の実態・意識

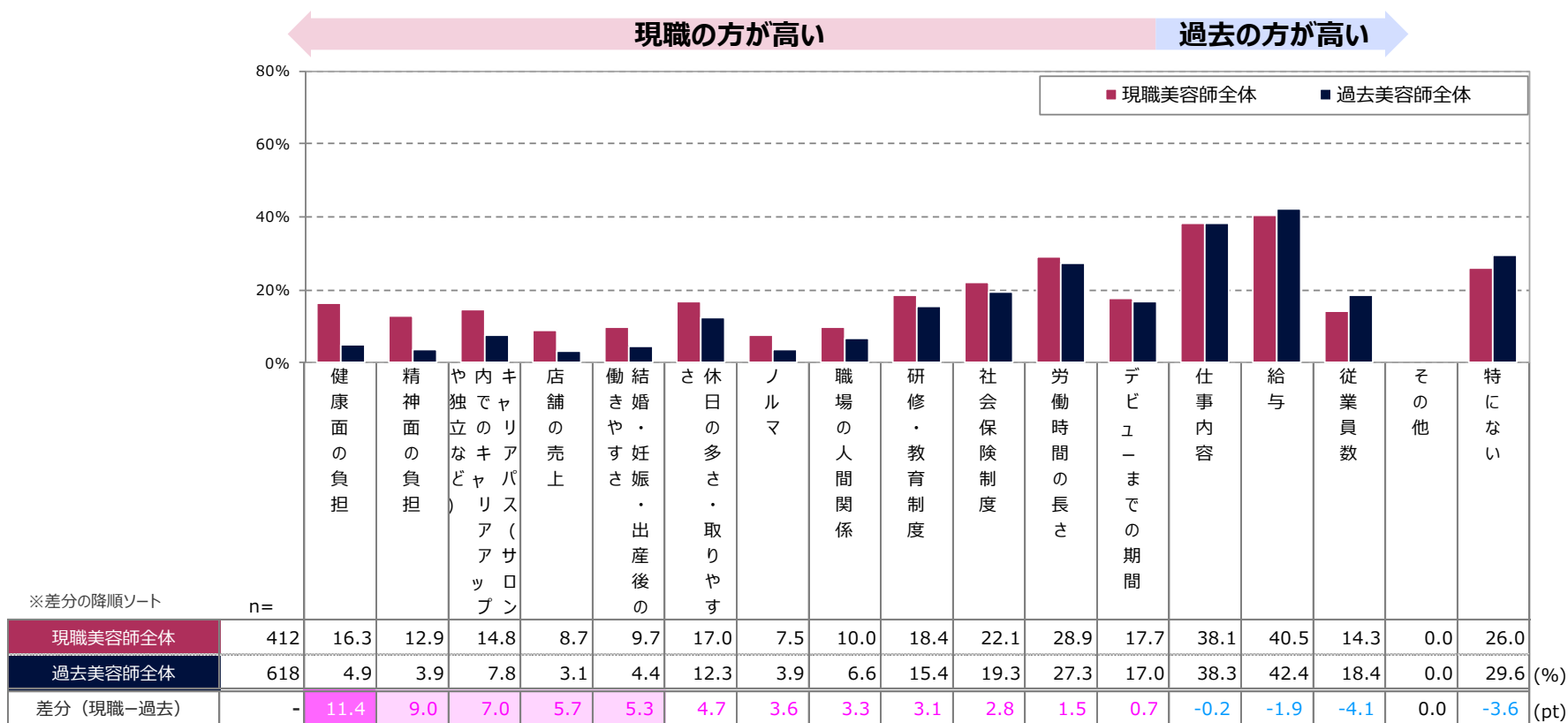
A 美容師を志望した理由

- 志望した理由をみると、現職の方が多くの理由においてスコアが高く、多面的な視点で志望に至っていると考えられる
- 過去美容師をみると、「業界へのあこがれ」「接客が好き」「ファッションへの興味」など具体的業務に落ちない漠然とした動機で志望している様子が想像できる



A 美容師という仕事について、就業前に調べたこと

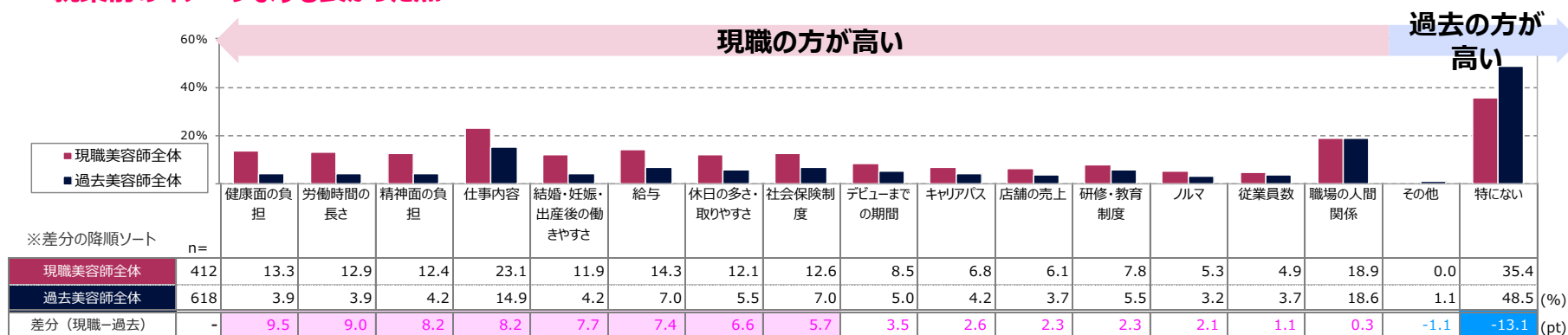
- 志望した理由と同様に、現職の方が多くの理由においてスコアが高く、多岐に渡る内容を事前に調べている様子がうかがえる
- 現職は特に「健康面の負担」「精神面の負担」「キャリアパス」などを調べており、自分が中長期的に働くことをイメージして情報収集していると推察される



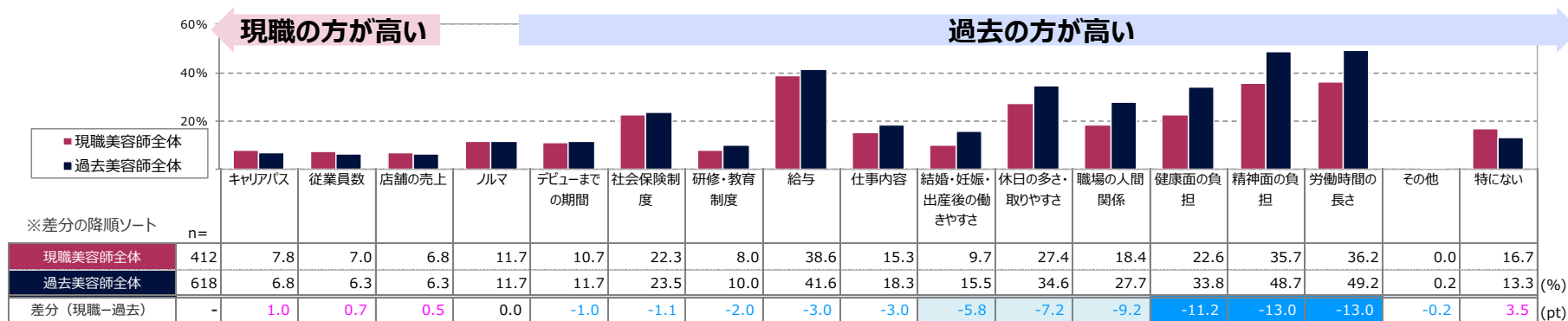
A 美容師になる前と後でのイメージのギャップ

- 現職・過去美容師ともに、良いギャップよりも悪いギャップの方が全般的に高い点は共通
- 過去美容師は現職美容師と比較して、更に悪いギャップのスコアが高く、特に「労働時間の長さ」や、「精神面の負担」は想像よりも悪かった人が約半数も存在している

■ 就業前のイメージよりも良かった点

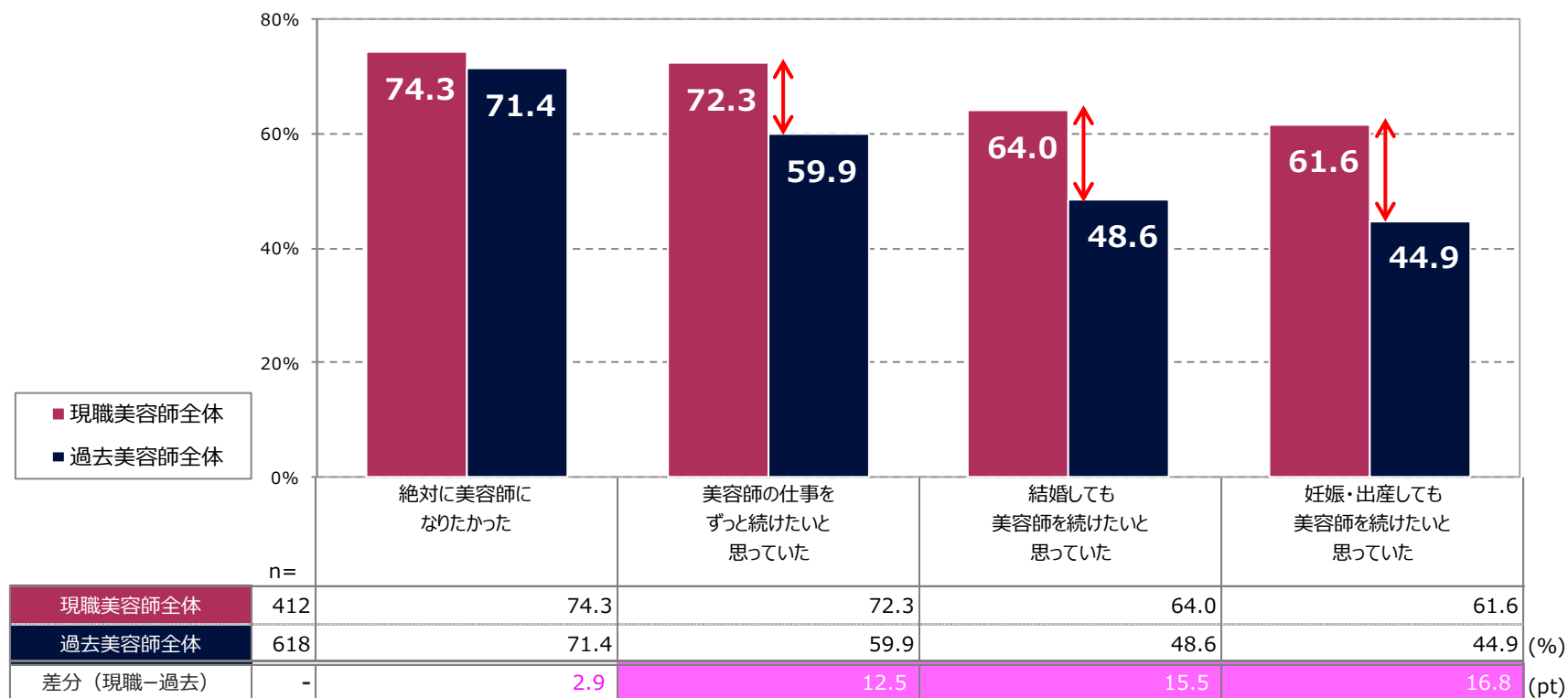


■ 就業前のイメージよりも悪かった点



A 美容師就業前の継続意向

➤ 現職美容師と過去美容師を比較して、「絶対に美容師になりたい」という最初の志望度合いに大きな違いはないが、美容師になった後の継続意向は過去美容師が軒並み低く、現職美容師に比べて長く続けるイメージが弱かったことが分かる





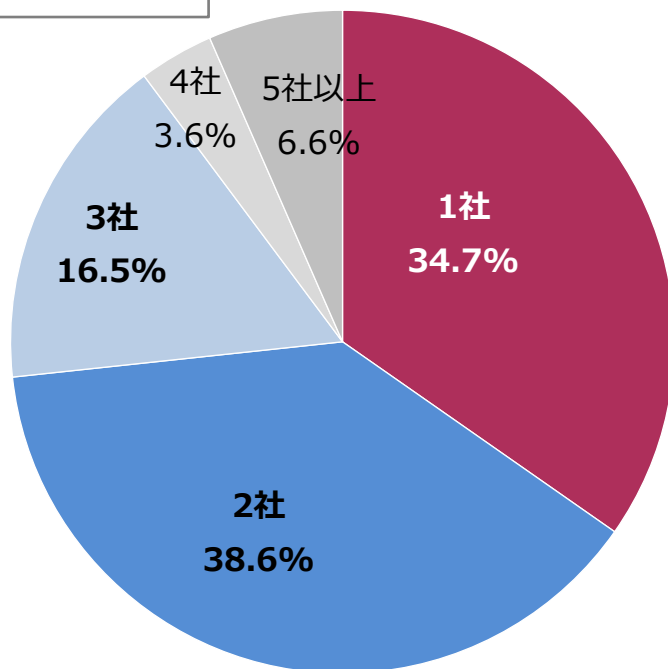
就活の実態・意識

A 候補にあがったサロン数（1社のみの割合&平均）

- 現職美容師・過去美容師ともに、候補に挙げたサロンが3社以下の人が約9割を占める
- 過去美容師は1社しか検討していない人が約半数と、現職よりも多い

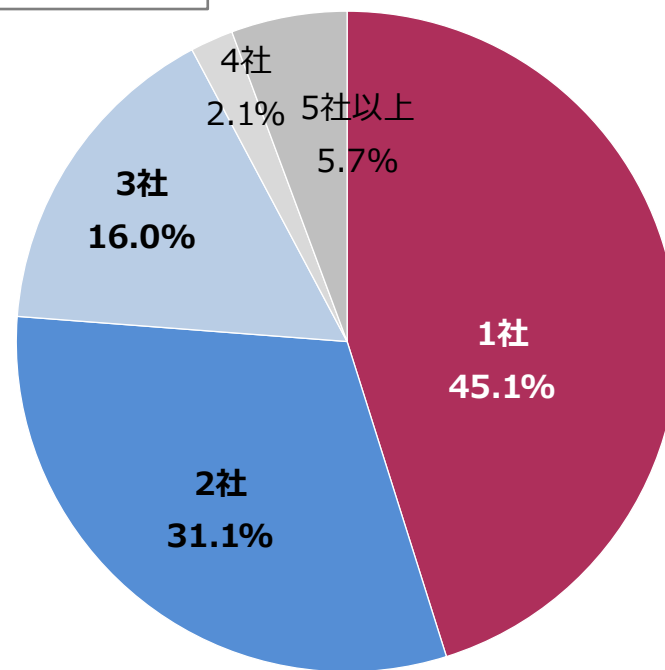
現職美容師（N=412）

平均：2.1社



過去美容師（N=618）

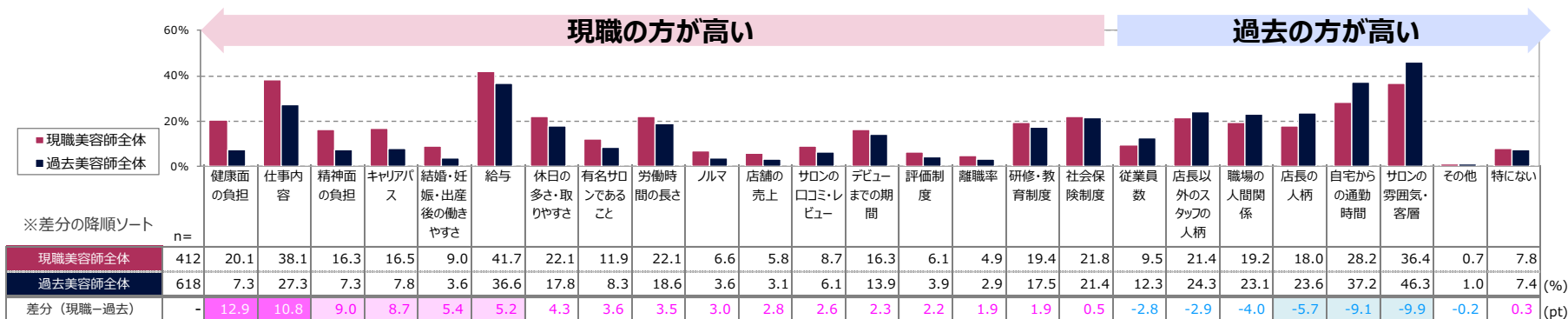
平均：1.9社



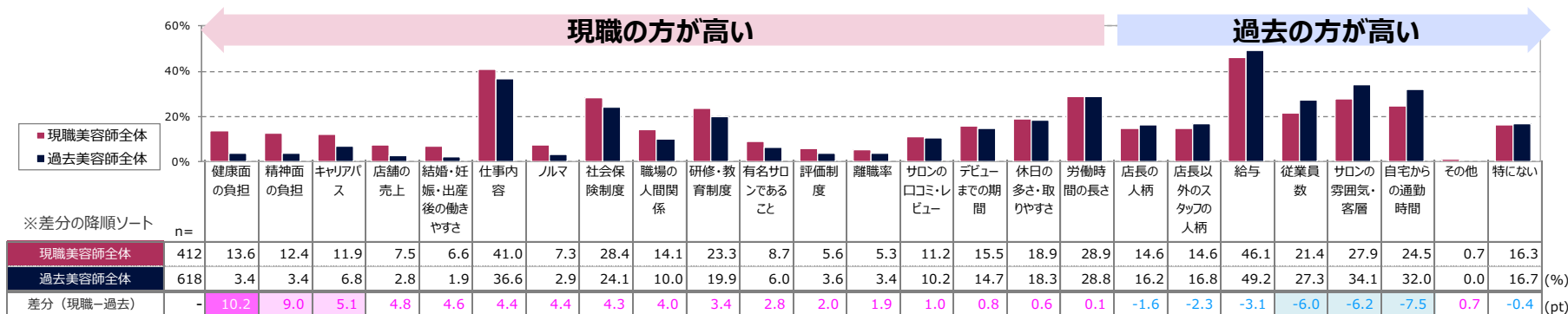
A サロン選びの重視点、調べたこと①

- 重視点・調べたことともに現職の方が多岐にわたり、「健康面・精神面の負担」「キャリアパス」など、労働環境・条件について過去美容師よりは調べられている（ただし、スコアは1割強と高くはない）
- 過去美容師は、「サロンの雰囲気」「通勤時間」など、労働条件以外の重視度が高い

■ サロン選びの重視点



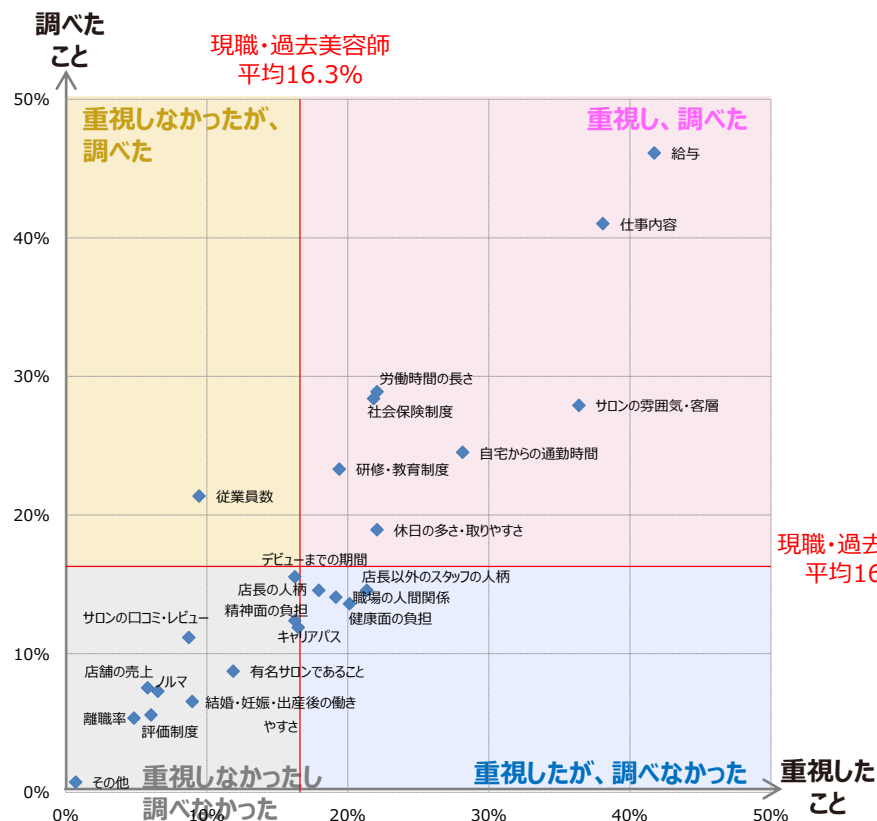
■ 1社目のサロンについて入社前に調べたこと



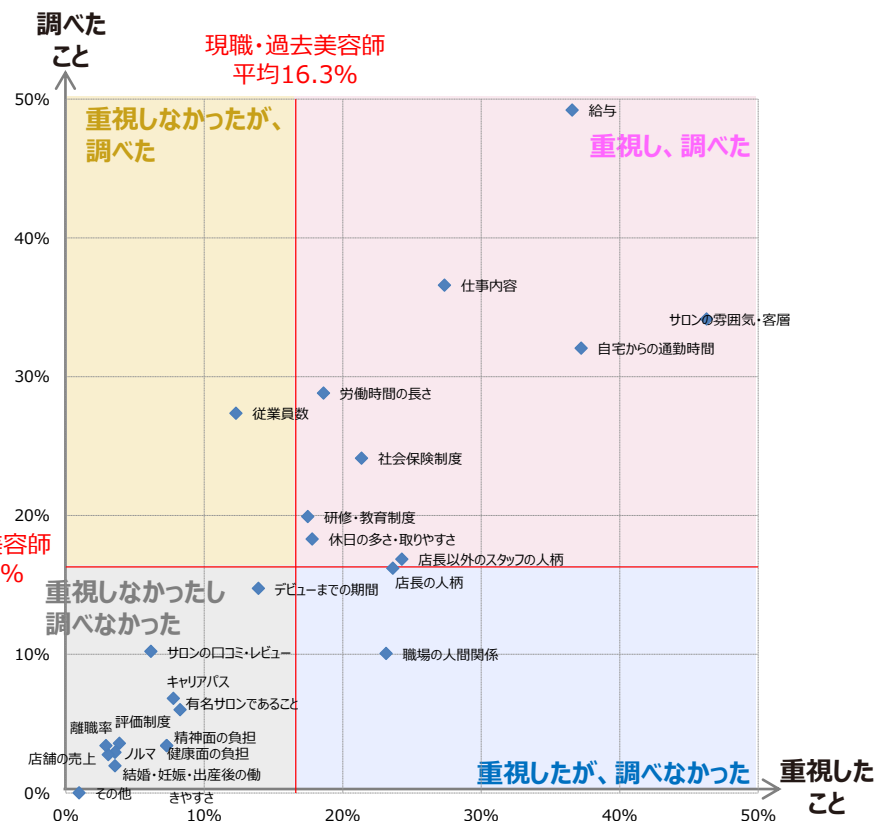
A サロン選びの重視点、調べたこと②

- 【横軸:サロン選びで重視したこと】×【縦軸:入社前に調べたこと】で整理した
- <重視したが調べなかったこと（青ゾーン）>に位置づくものをみると、人間関係や、店長・スタッフの人柄など、“人”に関することが多い。学生が就業前にサロンの“人”と会える機会は多くないと考えられるため、インターンや職場見学など、スタッフと会う機会を設けることはサロン選びの一助となる

現職美容師



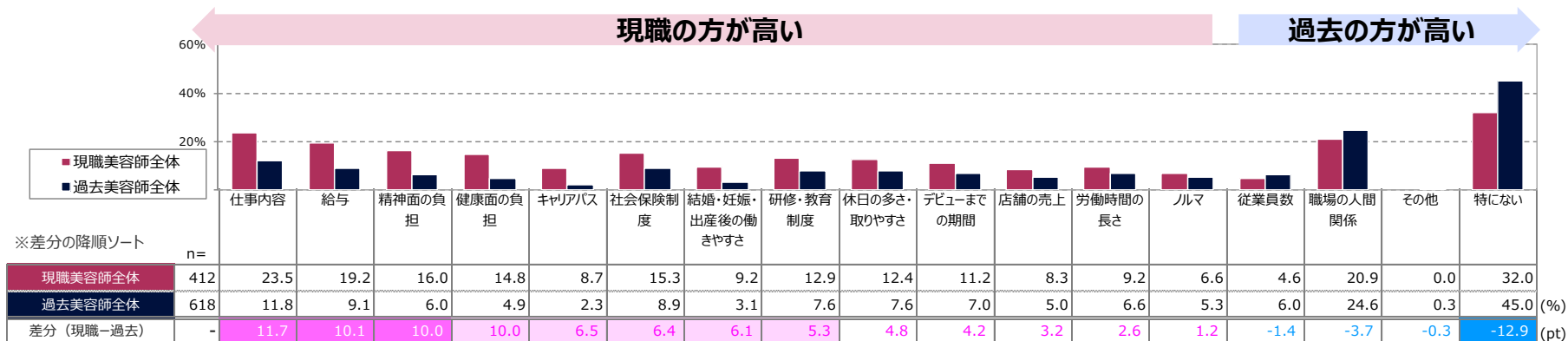
過去美容師



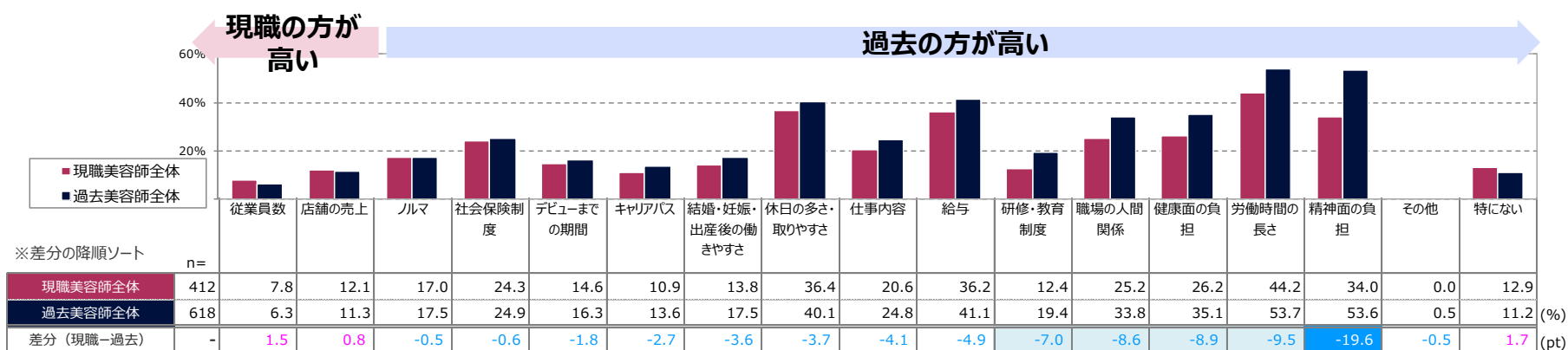
A 1社目のサロンで働く前と後でのイメージのギャップ

- 現職・過去美容師ともに、良いギャップよりも悪いギャップの方が全般的に高い点は共通
- 入社前にリサーチできていない過去美容師は更に悪いギャップが高く、特に「精神面の負担」で顕著

■ 就業前のイメージよりも良かった点



■ 就業前のイメージよりも悪かった点



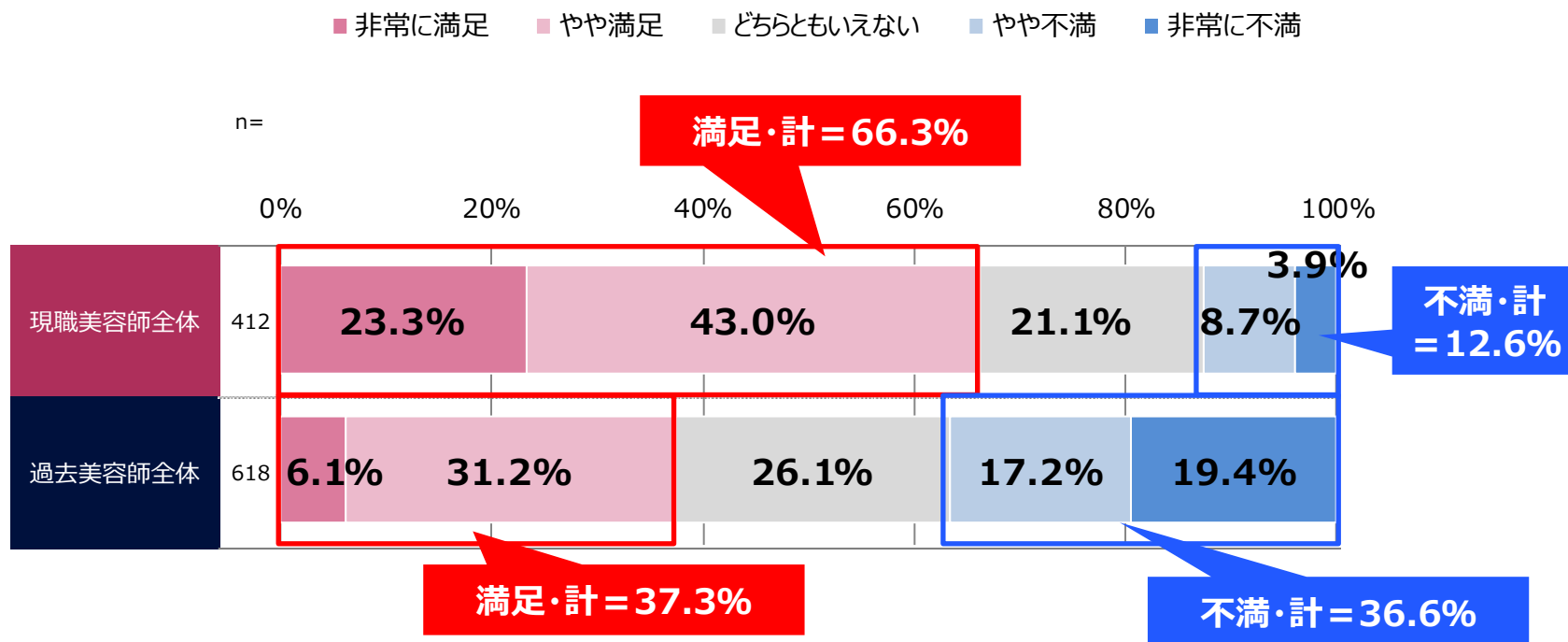


職場環境の実態・意識

A 直近勤務サロンの総合満足度

- 過去美容師は現職美容師に比べて満足度TOP2スコアが約30ptも低く、満足TOP2スコアと不満TOP2スコアがほぼ同等
- また、「非常に不満」という強い不満を持つ人が約2割を占める

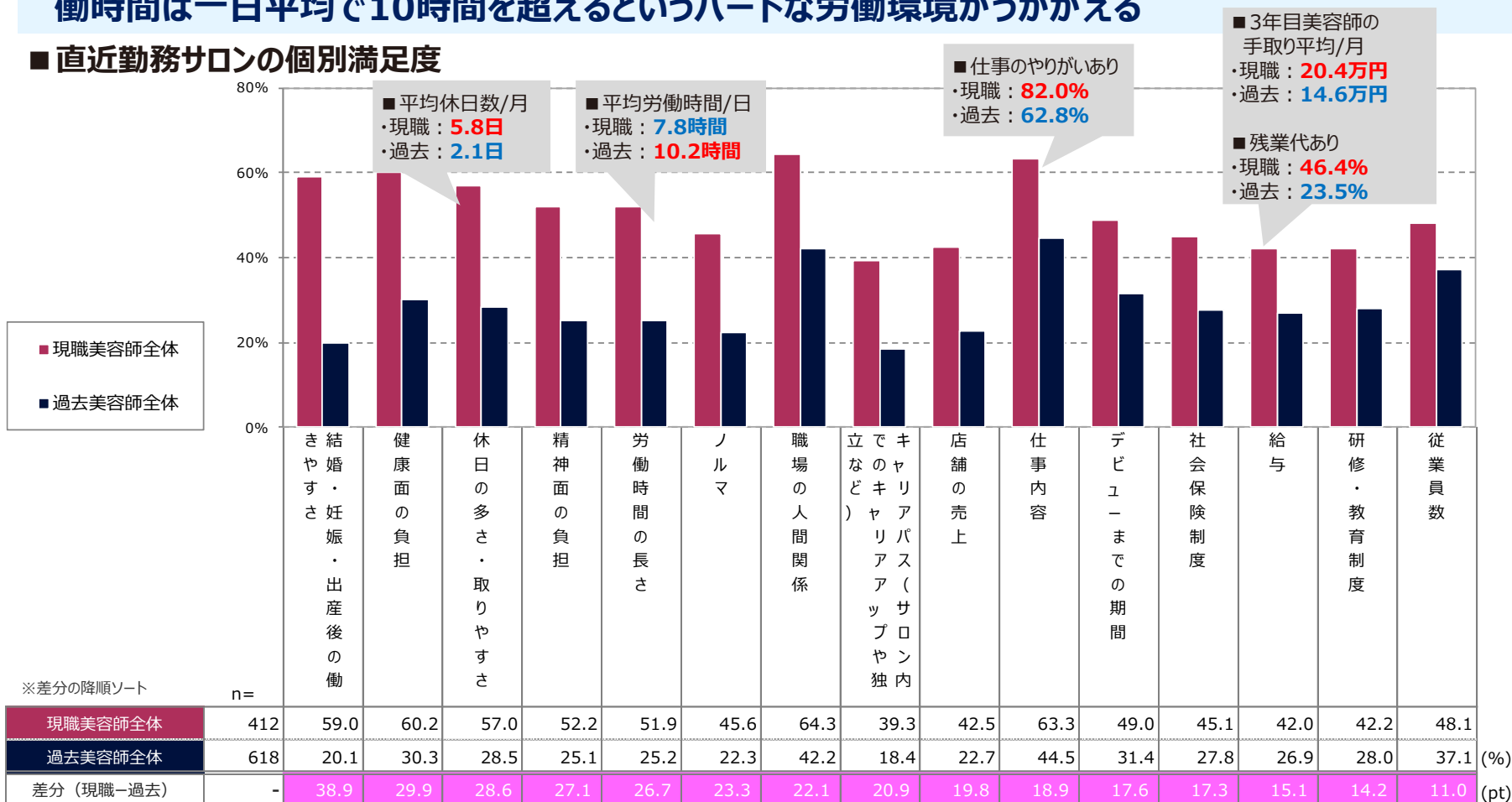
■ 直近勤務サロンの総合満足度



A 直近勤務サロンの個別満足度

- 全項目で過去美容師は現職美容師に比べて満足度が低く、特に「結婚・妊娠・出産後の働きやすさ」や、「休日」「労働時間」などの拘束時間の長さ、「健康面・精神面の負担」などで差が顕著
- 実態を見ても、休日数・手取り・残業代支給などは過去美容師の方が軒並み少なく、その一方で労働時間は一日平均で10時間を超えるというハードな労働環境がうかがえる

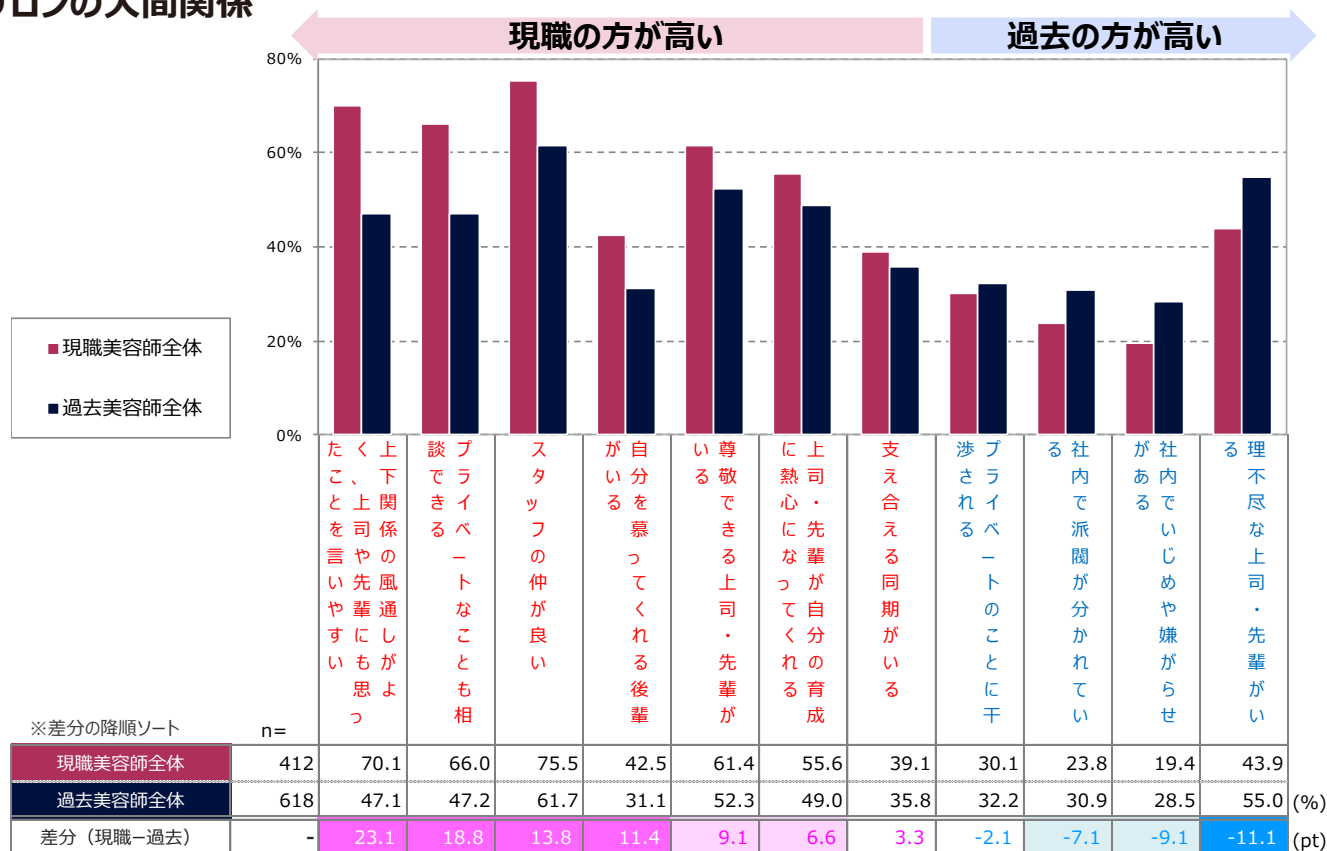
■ 直近勤務サロンの個別満足度



A 直近勤務サロンの人間関係

- 人間関係の詳細をみると、ポジティブな内容（赤字）は現職の方が、ネガティブな内容（青字）は過去の方が高くなっており、サロンの働きやすさや働くモチベーションにも影響していたと考えられる
- 現職は特に「風通しが良い」「相談できる」「仲が良い」などのスコアが高く、不安や不満がある際には相談しやすい職場環境が想像できる

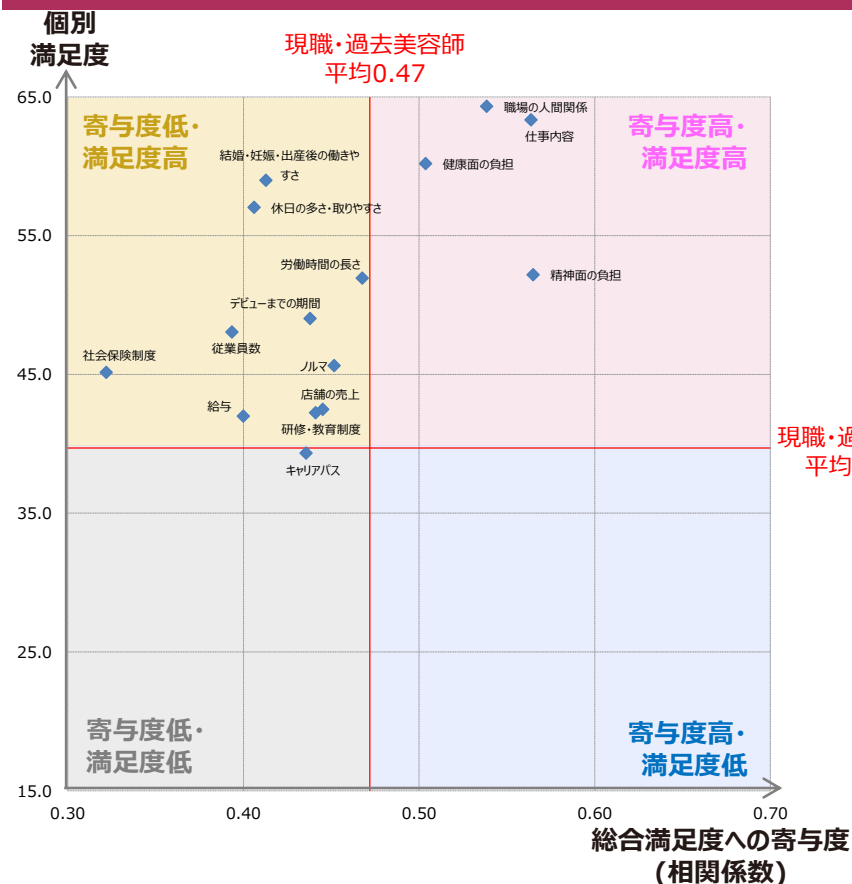
■ 直近勤務サロンの人間関係



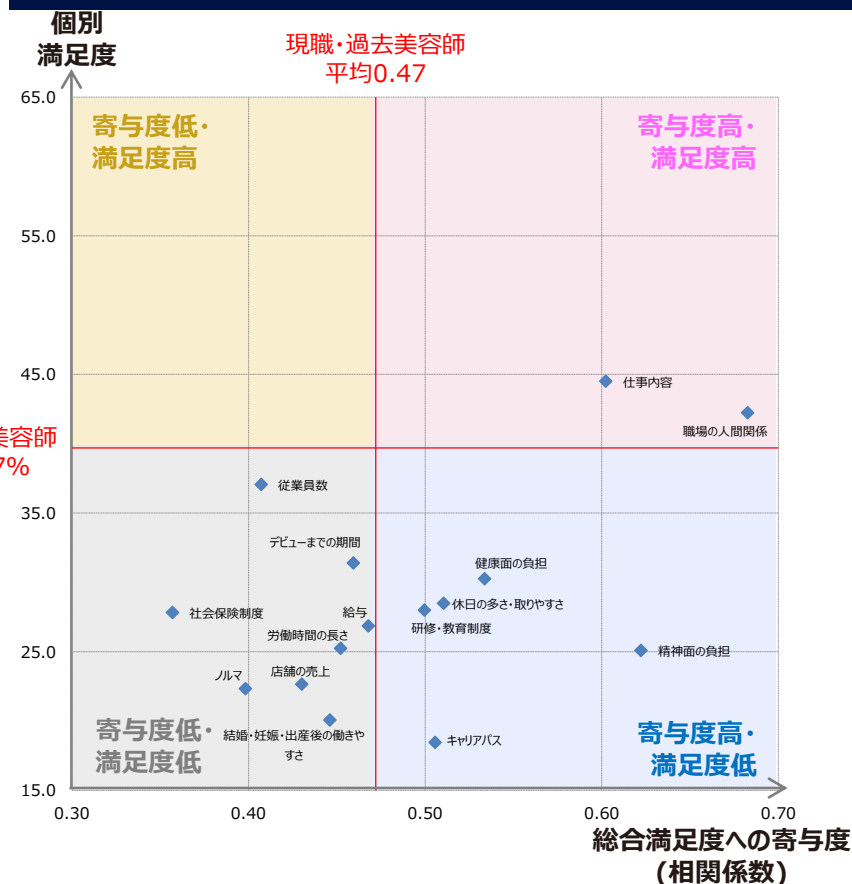
A 総合満足度に寄与する個別満足度

- ▶ 個別満足度について、【横軸:総合満足度への寄与度】×【縦軸:満足度合い】で整理した
- ▶ 過去美容師の結果をみると、「健康面・精神面の負担」「休日の多さ」など心身の負担や、「研修・教育制度」「キャリアパス」などキャリア形成に関する項目の満足度が低く、かつそれが総合満足度の低下にもつながっていることが分かる

現職美容師



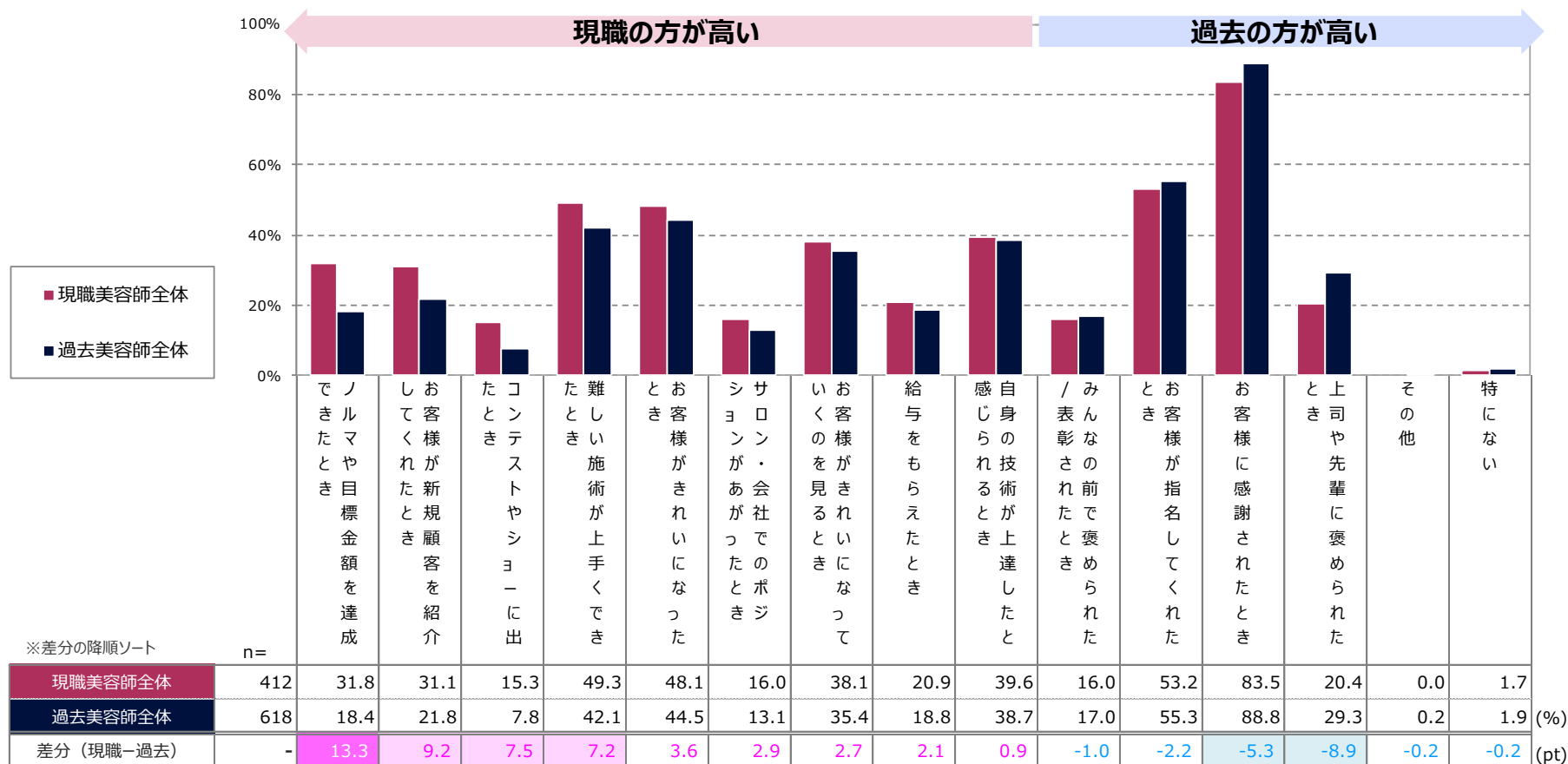
過去美容師



A 美容師としてやりがいを感じる瞬間

- 現職・過去ともに「お客様に感謝されたとき・指名されたとき」にやりがいを感じる人が多い
- 現職美容師は「ノルマの達成」「コンテスト出場」など目標の達成や、「難しい施術が上手できる」ことにやりがいを感じるという“自己実現欲求”が高い傾向にあるが、過去美容師は「上司や先輩から褒められる」「お客様に感謝される」など、“他者からの承認欲求”が高い傾向にある

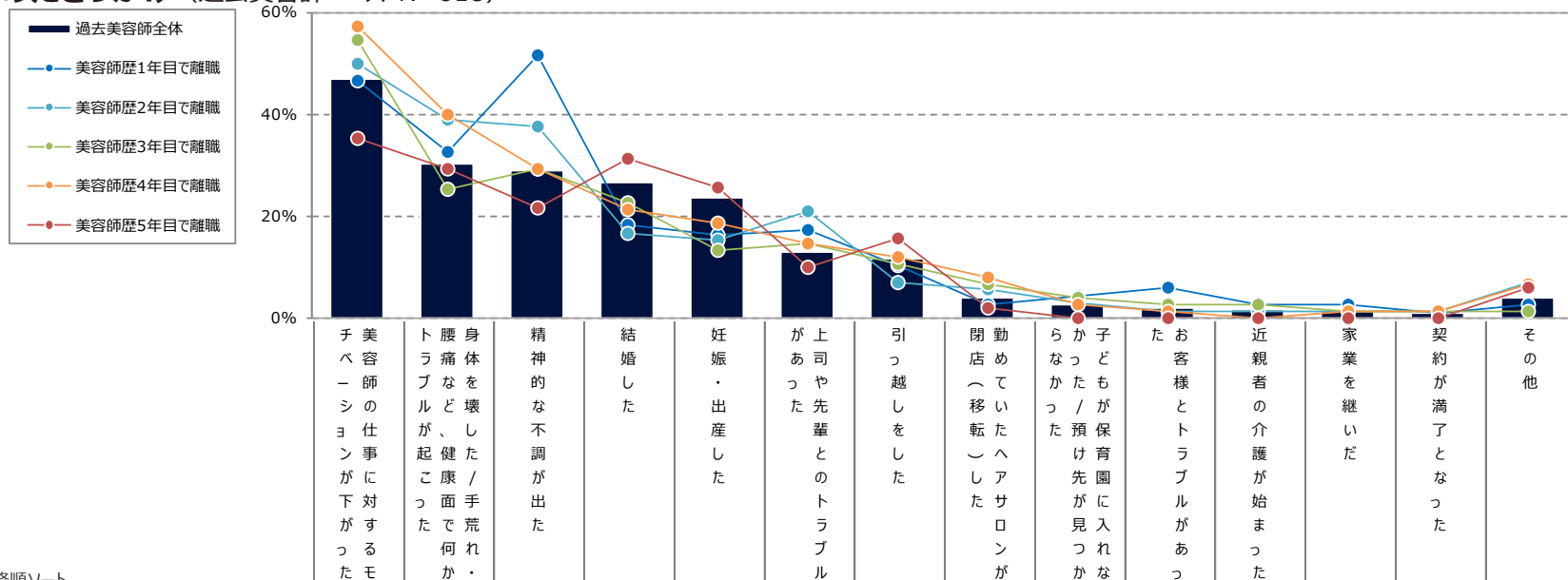
■ 美容師としてやりがいを感じる瞬間



A 美容師を辞めたきっかけ

➤ 過去美容師全体のきっかけで最も多いのは「モチベーションの低下」。概ね歴が長くなるほどその傾向が強まるが、5年目離職層はややスコアが下がり、代わりに「結婚」「妊娠・出産」が高め。ライフスタイル変化が直接のきっかけになったものの、それまでにモチベーションの低下もあったため、美容師継続には至らなかったと考えられる

■ 辞めたきっかけ (過去美容師ベース・N=618)



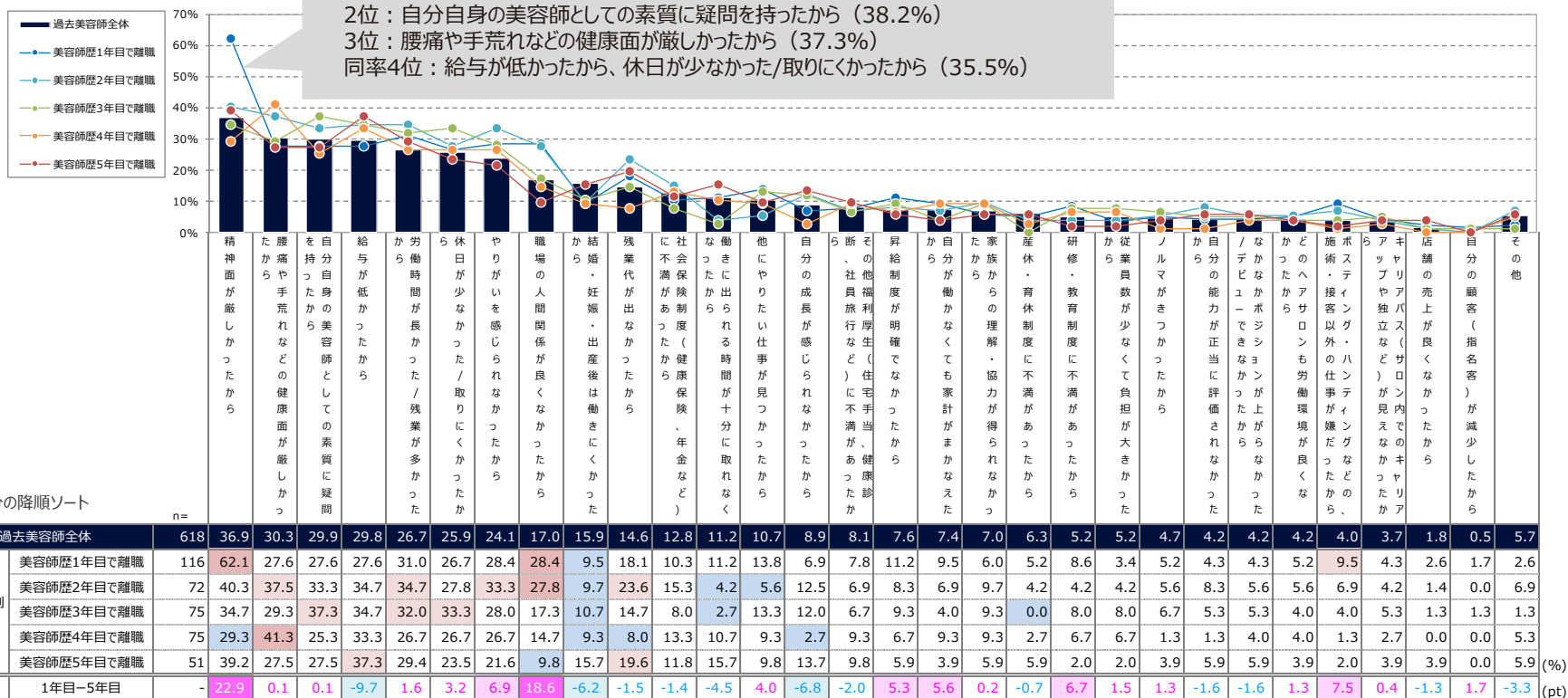
過去美容師全体		n=	618	46.8	30.4	29.0	26.7	23.6	12.8	11.7	4.0	2.8	1.9	1.6	1.1	0.8	3.9
美容師歴別 ②	美容師歴1年目で離職	116	46.6	32.8	51.7	18.1	16.4	17.2	10.3	2.6	4.3	6.0	2.6	2.6	0.9	2.6	(%)
	美容師歴2年目で離職	72	50.0	38.9	37.5	16.7	15.3	20.8	6.9	5.6	2.8	1.4	1.4	1.4	1.4	6.9	(%)
	美容師歴3年目で離職	75	54.7	25.3	29.3	22.7	13.3	14.7	10.7	6.7	4.0	2.7	2.7	1.3	1.3	1.3	(%)
	美容師歴4年目で離職	75	57.3	40.0	29.3	21.3	18.7	14.7	12.0	8.0	2.7	1.3	0.0	1.3	1.3	6.7	(%)
	美容師歴5年目で離職	51	35.3	29.4	21.6	31.4	25.5	9.8	15.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	(%)
差分 1年目-5年目		-	11.3	3.3	30.2	-13.3	-9.1	7.4	-5.3	0.6	4.3	6.0	2.6	2.6	0.9	-3.3	(pt)

A 美容師を辞めた理由

- 全体のトップは「精神面が厳しかった」で、特に1年目離職層で顕著に高い。その内訳をみると、「労働時間が長い」「休日が少ない」などハードな労働時間や、「健康面が厳しい」など、身体的負担が精神面の負担につながっていたことが分かる
- 「美容師としての素質に疑問を持った」も全体の上位にあがり、自信のなさがうかがえる

■ 辞めた理由 (過去美容師ベース・N=618)

- 「精神面が厳しかったから」選択者が、他に選んだ辞めた理由TOP5
- 1位：労働時間が長かった/残業が多かったから (39.0%)
 - 2位：自分自身の美容師としての素質に疑問を持ったから (38.2%)
 - 3位：腰痛や手荒れなどの健康面が厳しかったから (37.3%)
 - 同率4位：給与が低かったから、休日が少なかった/取りにくかったから (35.5%)

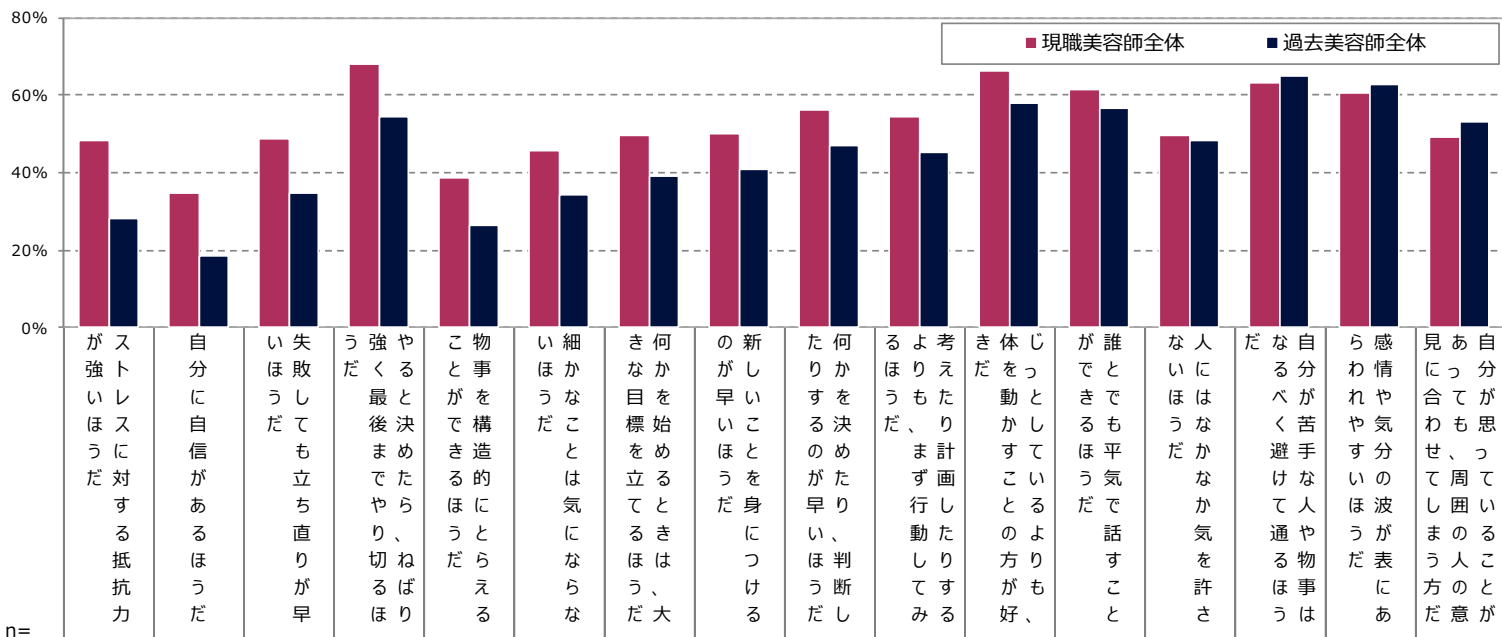




性格・気質

- 過去美容師は現職美容師に比べて、ストレス耐性、自信の強さ、立ち直りの早さ、ねばり強さなど、社会人として一般的に求められるであろう要素の多くが下回っている
- その一方で、美容師に求められるであろう「誰とでも平気で話せる」という外向性は、現職美容師の方が若干高いものの大きな差はみられなかった

■ 性格・気質



※差分の降順ソート
※top2スコア

現職美容師全体	n=	412	48.3	35.0	48.8	68.0	38.6	45.9	49.5	50.2	56.3	54.4	66.5	61.4	49.8	63.3	60.7	49.0
過去美容師全体		618	28.2	18.4	34.8	54.7	26.5	34.5	39.0	40.8	47.1	45.5	57.9	56.5	48.4	65.2	62.6	53.2
差分 (現職-過去)		-	20.1	16.5	14.0	13.3	12.1	11.4	10.5	9.5	9.2	8.9	8.6	4.9	1.4	-1.9	-1.9	-4.2

(%)

(pt)

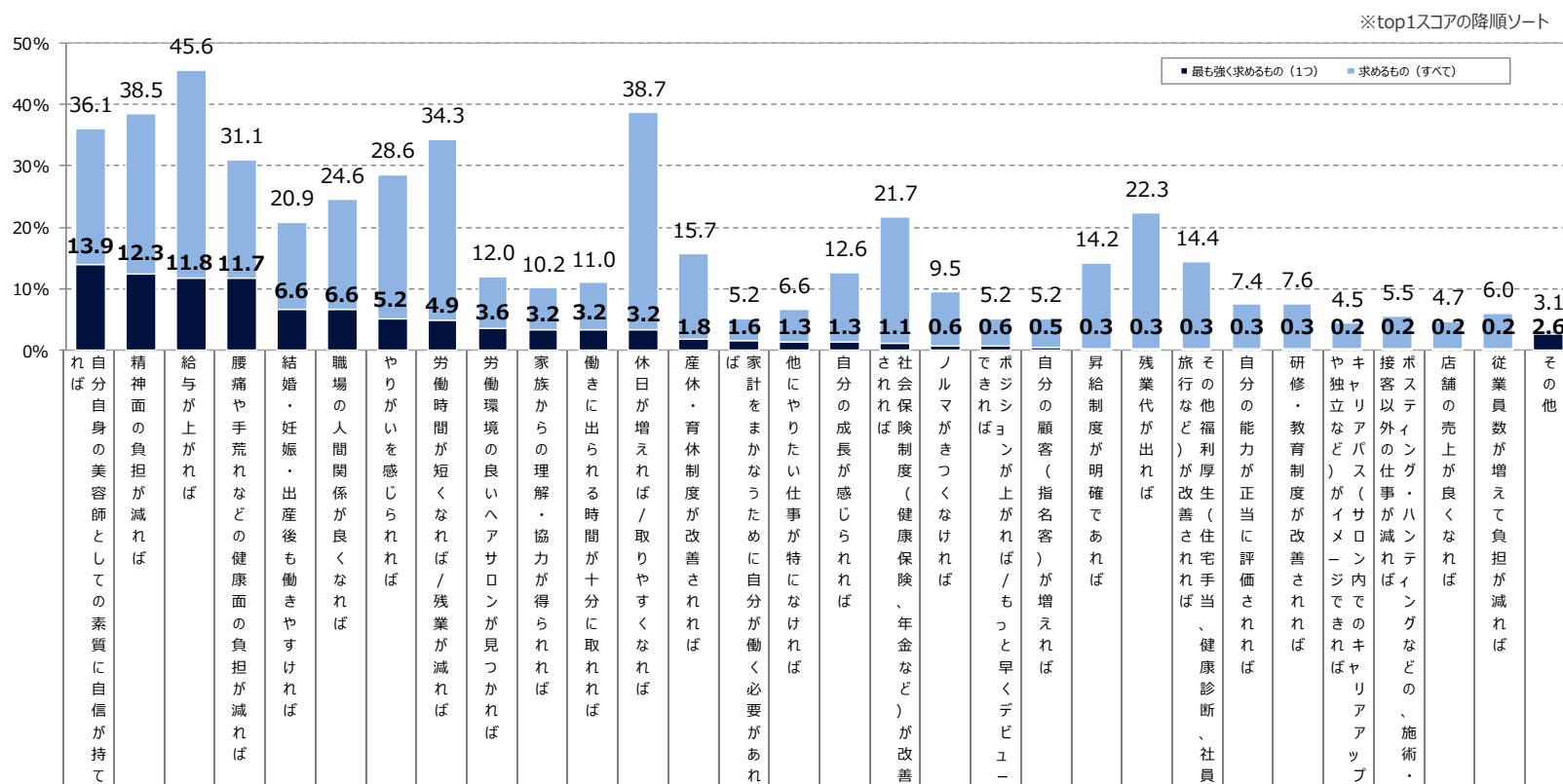


業界定着の打ち手

A 何がどうなれば辞めずに済んだか

➤ 最も強く求めることは、「美容師としての素質に自信が持てる」こと。自信のなさは精神的負担にもつながっていたため（前述）、昇給させる、良い点を見つけて褒めるなど、評価されている実感を与えて自信を持たせることが、離職を踏みとどまらせる助けになる可能性はある

■ 何がどうなれば辞めずに済んだか（過去美容師ベース・N=618）

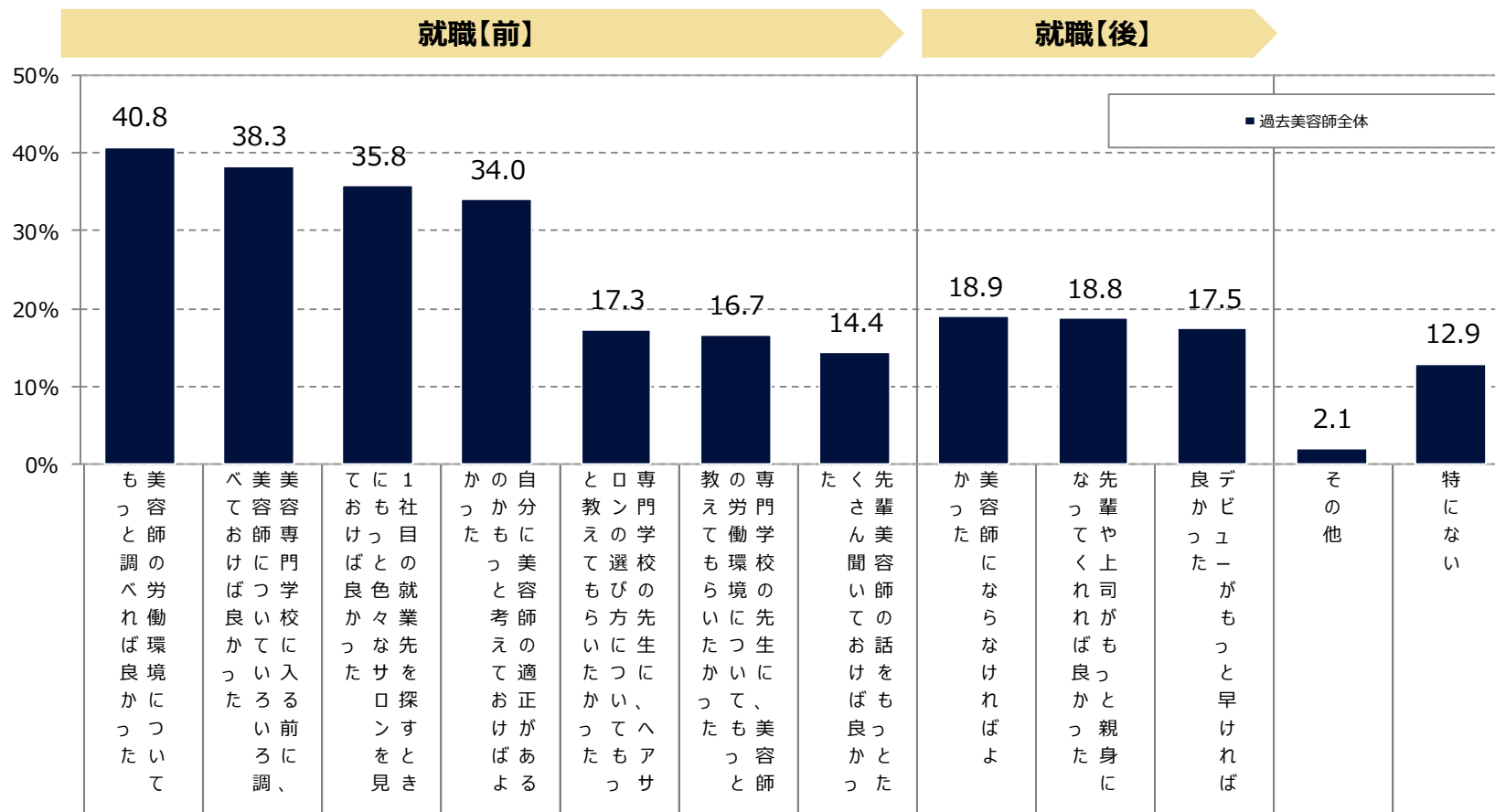


A 打ち手の仮説評価

- 就職前の準備についての後悔がメインで、特に「労働環境」「美容師という職」「就業先サロン候補」の情報収集を怠った点や、「自分の美容師適性」の検討を怠った点への後悔が大きい
- 前者の情報収集については、周囲からの情報提供によってサポート可能な範囲だと考えられる

■ 打ち手の仮説評価 (過去美容師ベース・N=618)

※就職前・就職後それぞれ降順ソート



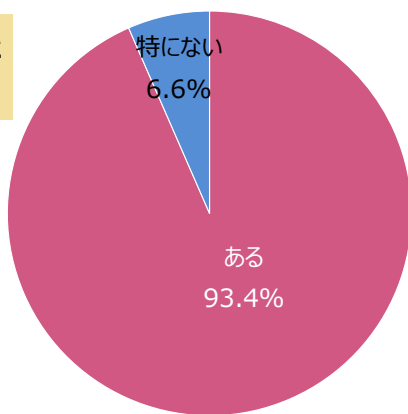
A 現職美容師が辞めたいと思った瞬間と、乗り越えた理由

➤ 現職美容師のうち、9割弱は本気で離職を考えた経験がある。それでも踏みとどまった理由をみると、「顧客」の存在が最も大きい。理由の2位には「移籍による労働環境改善」があがっており、1社目のサロン選びに失敗しても移籍という手段があると伝えるのは、業界定着の促進に有用だと考えられる

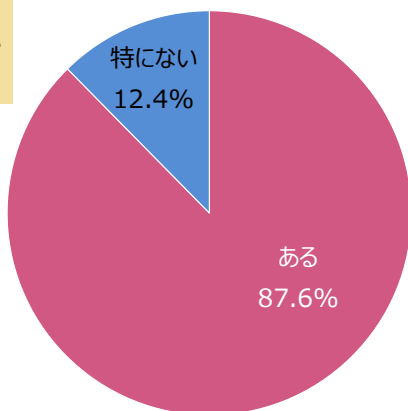
■ 美容師を辞めたいと思った瞬間の有無

(現職美容師ベース・N=412)

ちょっと辞めたいと
思った瞬間



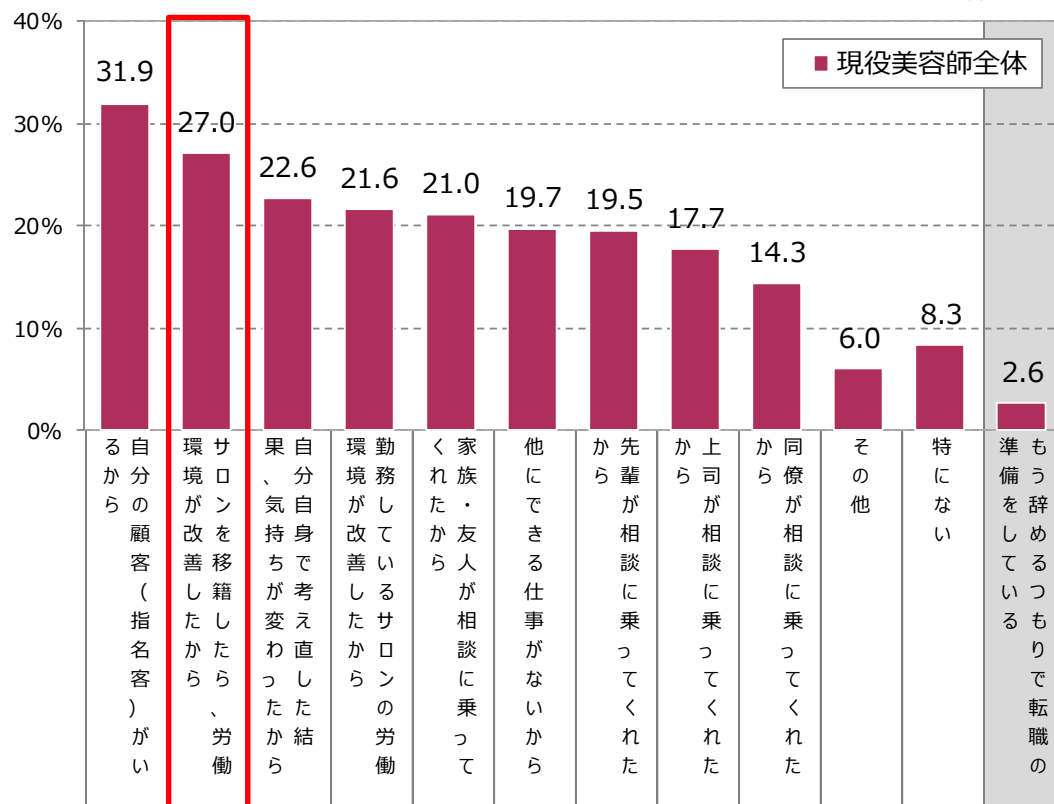
本気で辞めたいと
思った瞬間



■ 美容師を辞めたいと思ったが踏みとどまった理由

(辞めたいと思った瞬間がある現職美容師ベース・N=385)

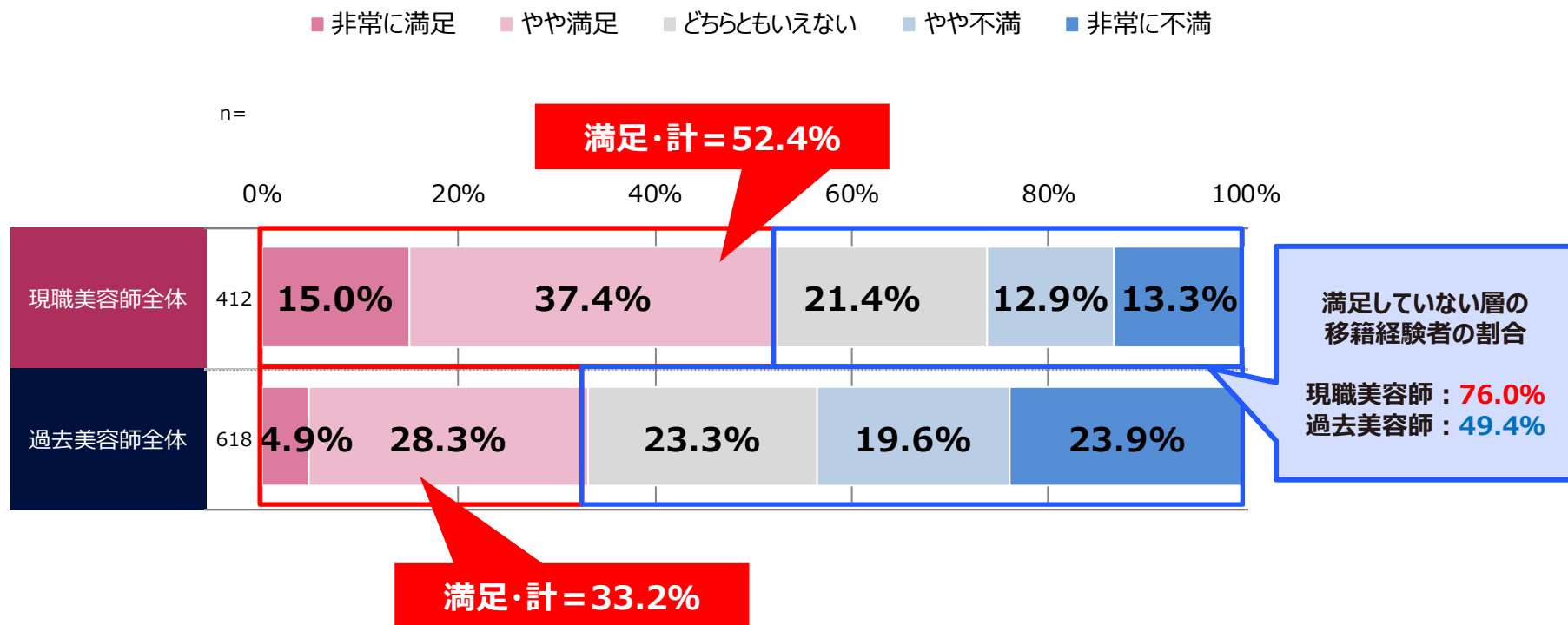
※降順ソート



A 1社目サロンの総合満足度

- 1社目サロンの総合満足度は過去美容師よりも現職美容師の方が高めではあるが、現職美容師でも満足者は5割程度に留まっており、総じて満足度はあまり高くないといえる
- 現職美容師は、1社目サロンで満足できなかった層のうち約8割が移籍を経験。対して過去美容師は5割が移籍をせずそのまま美容師を辞めており、移籍によって満足できるサロンを見つけられていれば、業界離脱を防げた可能性はある

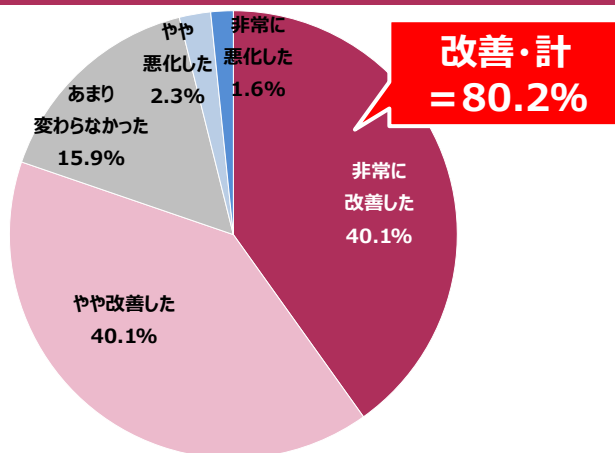
■ 1社目勤務サロンの総合満足度



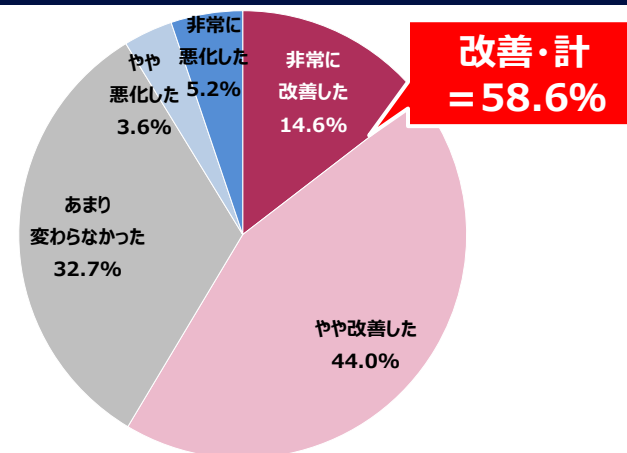
A 移籍によって、就業状況は改善したか？

- 移籍を経験した現職美容師のうち8割が労働環境の改善を実感。具体的に1社目サロンと直近サロンの労働時間やノルマ有無等を比較しても環境改善がうかがえる
- 過去美容師で環境が改善した人は6割弱に留まる一方、変化なしが3割強を占める。せっかく移籍しても、どのサロンも労働環境の厳しさは同じだと感じてしまい、業界離脱につながった可能性は高い

現職美容師



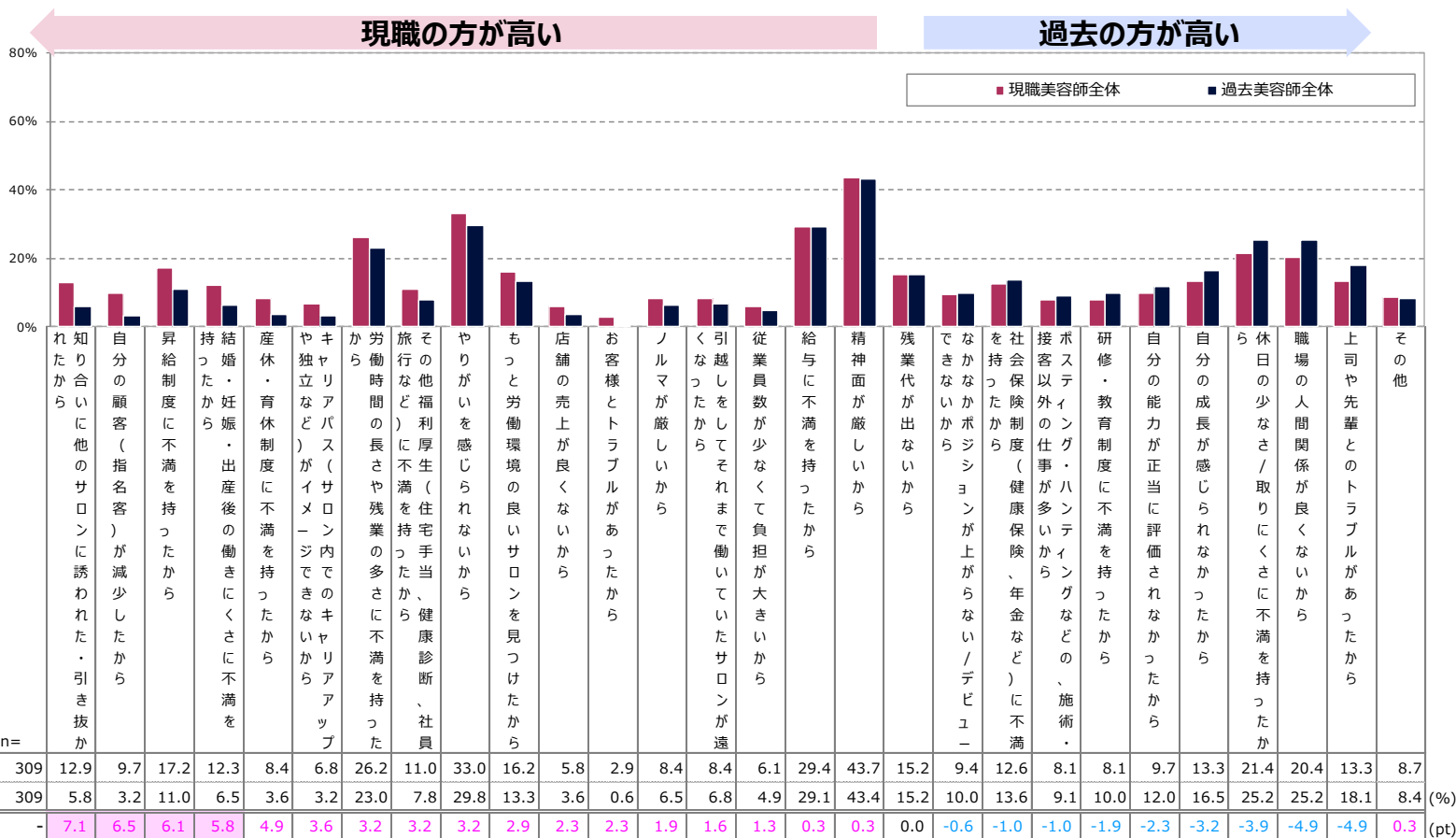
過去美容師



	1社目サロン		直近サロン
労働時間/日	9.7時間	1.9時間 Down	7.8時間
休日数/月	6.4日	1.5日 Up	7.9日
ノルマ	ない : 42.7%	16.3% Up	ない : 59.0%
やりがい	ある : 71.1%	10.9% Up	ある : 82.0%

	1社目サロン		直近サロン
労働時間/日	11.0時間	0.8時間 Down	10.2時間
休日数/月	5.9日	0.7日 Up	6.6日
ノルマ	ない : 51.1%	7.8% Up	ない : 58.9%
やりがい	ある : 60.7%	2.1% Up	ある : 62.8%

- 現職・過去美容師ともに「精神面の厳しさ」がトップ
- 現職美容師は過去美容師に比べ、「知り合いの誘い」のほか、「顧客減少」「昇給制度」「結婚・妊娠・出産後の働きやすさ」の改善のために移籍をした人がやや多いのに対し、過去美容師は人間関係が発端になりやすい





参考：その他Findings

A 参考) 1社目サロンの早期離職と業界離脱の関係性

- 美容師歴3年未満は、1社目の離職がそのまま業界離脱につながりやすい。最初の3年は労働環境の厳しさや、美容師適性などが影響し、1社目で美容師自体を辞める人が多いとみられる
- 対して美容師歴3年以上になると、早めに1社目を離職した場合もそのまま美容師を続けた人が一定数いるため、1社目の早期離職と業界離脱に関係性はないと考えられる

■ 美容師歴別 1社目サロンの勤務年数 (過去美容師ベース・N=1460)



		美容師としての勤務年数											
		～1年未満	1年以上～2年未満	2年以上～3年未満	3年以上～4年未満	4年以上～5年未満	5年以上～6年未満	6年以上～7年未満	7年以上～8年未満	8年以上～9年未満	9年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～
N=		247	188	195	153	126	114	83	90	58	54	117	35
1社目サロンの勤務年数	～1年未満	94.7	26.6	25.6	23.5	20.6	18.4	21.7	15.6	15.5	22.2	19.7	8.6
	1年以上～2年未満	3.2	71.3	21.0	22.2	13.5	19.3	14.5	6.7	5.2	13.0	17.9	11.4
	2年以上～3年未満	2.0	1.1	52.8	13.7	17.5	9.6	10.8	6.7	12.1	13.0	5.1	11.4
	3年以上～4年未満	0.0	0.0	0.0	39.9	6.3	11.4	7.2	12.2	10.3	9.3	3.4	8.6
	4年以上～5年未満	0.0	0.0	0.5	0.7	42.1	3.5	9.6	5.6	1.7	0.0	5.1	8.6
	5年以上～6年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.7	8.4	10.0	5.2	7.4	3.4	11.4
	6年以上～7年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.7	6.7	3.4	7.4	2.6	0.0
	7年以上～8年未満	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.7	6.9	3.7	1.7	0.0
	8年以上～9年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.9	1.9	2.6	0.0
	9年以上～10年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.4	1.7	2.9
	10年以上～15年未満	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	36.8	0.0
	15年以上～	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	37.1
1社目サロンを早期(3年未満)で辞めた後、美容師を続けた人の割合		40.5	48.4	52.6	53.0	71.1	67.2	51.9	57.3	68.6	(%)		